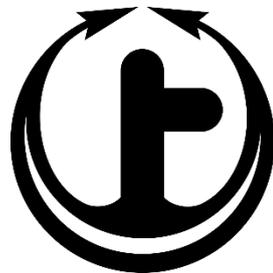


上松町

公共施設個別施設計画

【第1期】



令和3年3月

目次

第1章 計画の概要	3
第1節 背景・目的	3
第2節 計画の位置づけ	4
第3節 計画期間	5
第4節 対象施設	6
第2章 上松町の公共施設の現状と課題	7
第1節 施設（建物）の保有状況	7
第2節 施設関連経費の推移	10
第3章 今後見込まれる施設維持管理・更新にかかる費用	13
第1節 施設維持管理・更新にかかる費用の推計結果	13
第2節 推計条件	14
第4章 施設整備の基本的な方針等	15
第1節 施設マネジメントの基本方針	15
第2節 維持管理の実施方針	17
第3節 施設長寿命化の基本方針	19
第4節 保全優先度の判定	22
第5章 長寿命化型の実施計画	27
第1節 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果（推計結果）	27
第2節 個別施設計画（実施計画）の策定	29
第6章 施設分類別の個別施設計画	30
第1節 市民文化系施設	31
第2節 社会教育系施設	39
第3節 スポーツ・レクリエーション施設	40
第4節 産業系施設	46
第5節 学校教育系施設	49
第6節 子育て支援施設	51
第7節 保健・福祉施設	53
第8節 行政系施設	56

第9節 公営住宅	62
第10節 公園.....	65
第11節 その他.....	67
第7章 計画のフォローアップ.....	73

第1章 計画の概要

第1節 背景・目的

わが国においては、高度経済成長期に、多くの公共施設の整備が進められてきました。

当時に建築された公共施設の建築年数は30年以上経過し、多くが耐用年数を超過した状況となっています。そのため、このような公共施設は、今後、大規模改修や修繕、建替えが必要となります。

一方、少子・高齢社会の進展、高度情報化時代の到来など、社会経済情勢が急速に変化をしていく中で、高度化・多様化する住民ニーズに対応し、住民の皆様にご満足いただける行政サービスを提供していくことが求められており、そのための財政基盤の充実が喫緊の課題となっています。

公共施設の老朽化は社会的な問題となっており、本町においても将来の公共施設等に係る建替えや改修などの更新費用が増加することが予測されます。また、厳しい財政状況が続く中で、今後、人口減少などにより、公共施設等の利用需要が低下あるいは変化していくことが予想されます。

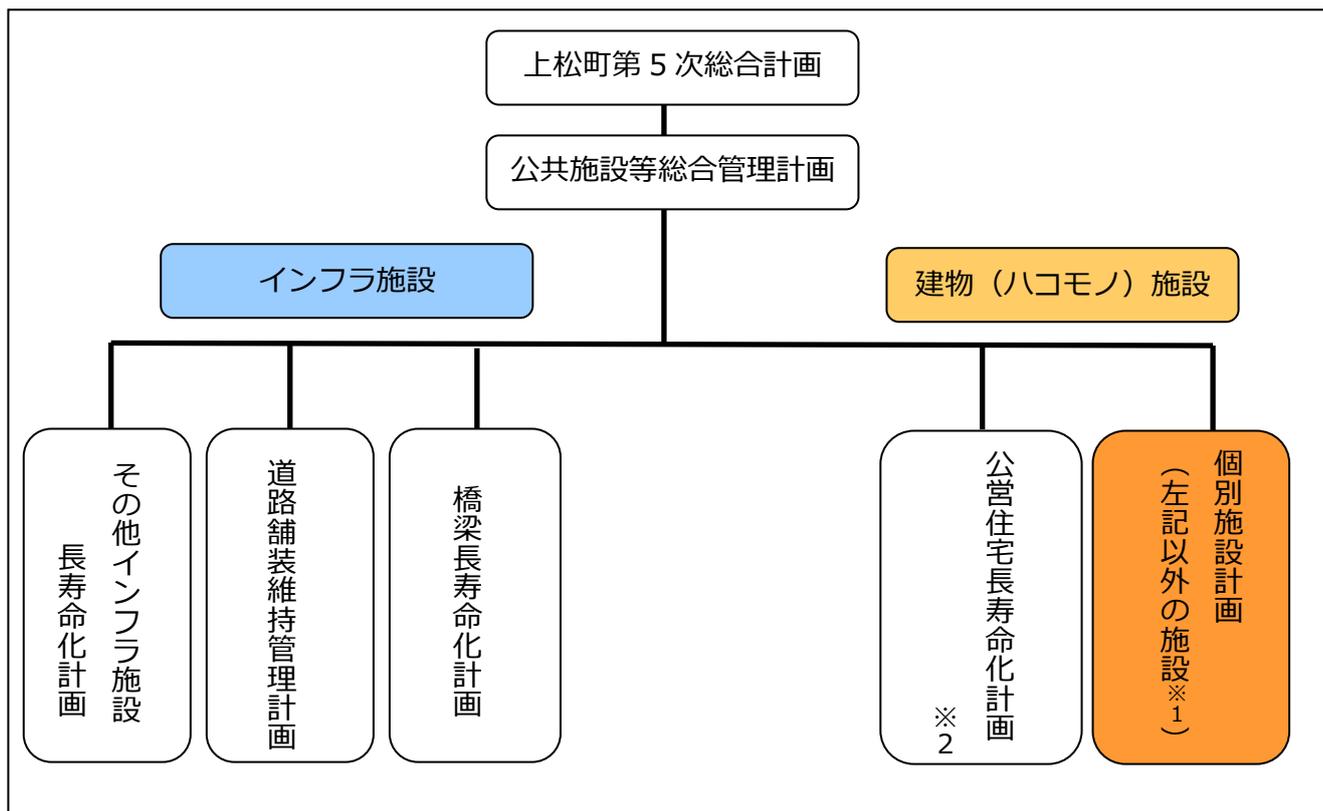
このような状況下で、国からも公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という）の策定が要請され、これを受け本町においては、2016年度（平成28年度）に第1期総合管理計画を策定しました。

総合管理計画では、町全体の公共施設の総合的な状況把握、方針の策定を行いましたが、さらに個別の施設毎の維持管理計画を策定することが求められており、具体的な対策内容や実施時期、対策費用を考える必要があります。このため、本町の関連計画と整合を図りながら、施設の現状の用途や劣化状況を踏まえ、「上松町個別施設計画」を策定します。

第2節 計画の位置づけ

個別施設計画は、総合管理計画の下位計画として、総合管理計画に掲げる建物施設（上下水道施設及び公営住宅を除く。）に対し、維持管理方針を示すとともに、施設ごとの更新・改修等の対策内容や実施時期、対策費用を示します。

【図. 計画の位置づけ】



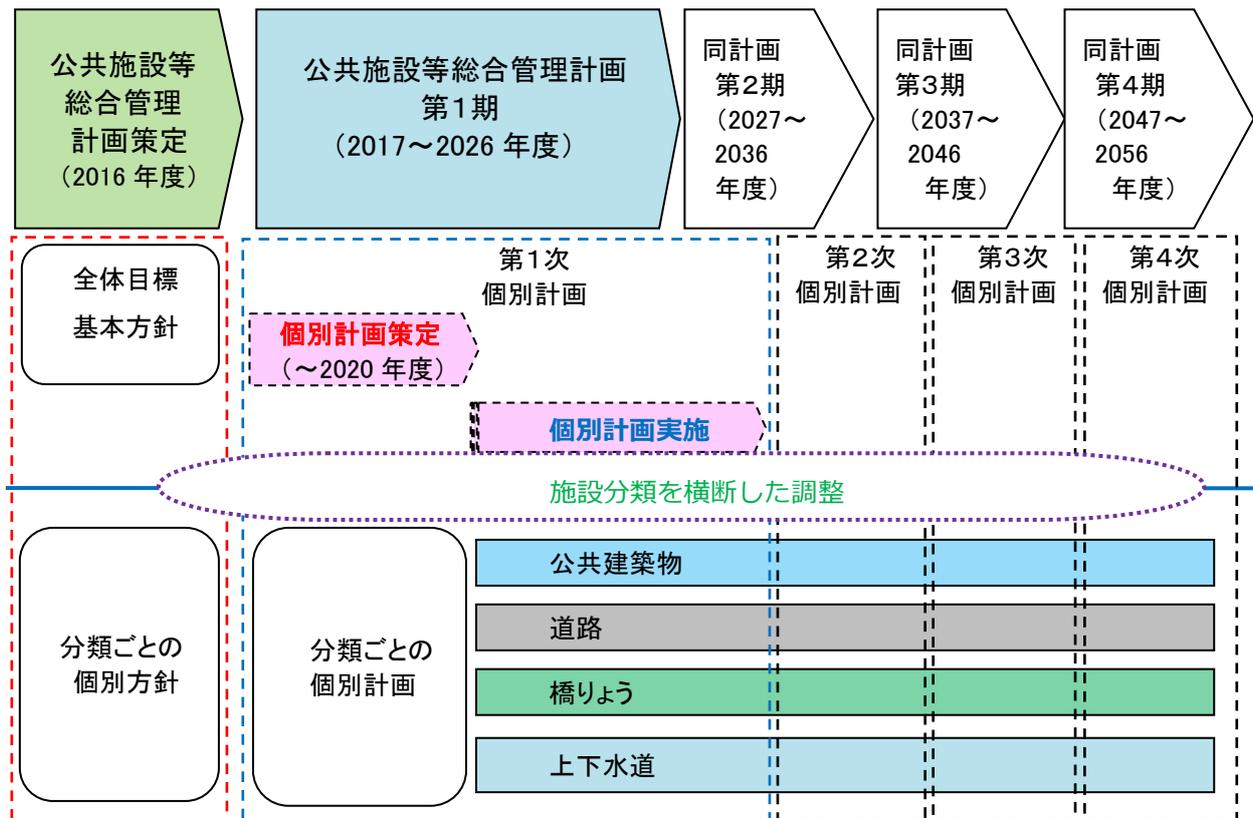
※1 バス停等、小規模な施設は除く。また上下水道関連施設は、インフラ施設として本計画には含まない。

※2 公営住宅でも教員住宅は、長寿命化計画として含まない為、本計画に含む。

第3節 計画期間

総合管理計画は、2017年度（平成29年度）から2026年度（令和8年度）までの10年間の第1期の計画期間としています。これを踏まえ、本計画の計画期間は、2021年度（令和3年度）から2030年度（令和12年度）までの10年間とし、5年後に中間見直しを行うものとします。

また、社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても必要な見直しを行うものとします。



第4節 対象施設

本町所有の建物施設のうち公営住宅及びインフラ資産に該当する上下水道施設を除く、以下の用途の施設を本計画の対象とします。

【図表 本計画の対象施設】

No.	施設用途分類	施設数	延床面積(m ²)	割合(%)
1	市民文化系施設	19	7,329.92	18.0
2	社会教育系施設	1	165.00	0.4
3	スポーツ・レクリエーション系施設	14	6922.54	14.0
4	産業系施設	5	840.25	2.1
5	学校教育系施設	2	13,361.50	32.8
6	子育て支援施設	1	1,162.00	2.9
7	保健・福祉施設	8	3,316.00	8.1
8	行政系施設	16	3,105.00	7.6
9	公営住宅	5	762.00	1.9
10	公園	1	8.00	0.0
11	その他	16	3,756.71	9.2
合計		88	40,728.92	100.0

※延床面積、施設数は2019年度末現在の総量です。

第2章 上松町の公共施設の現状と課題

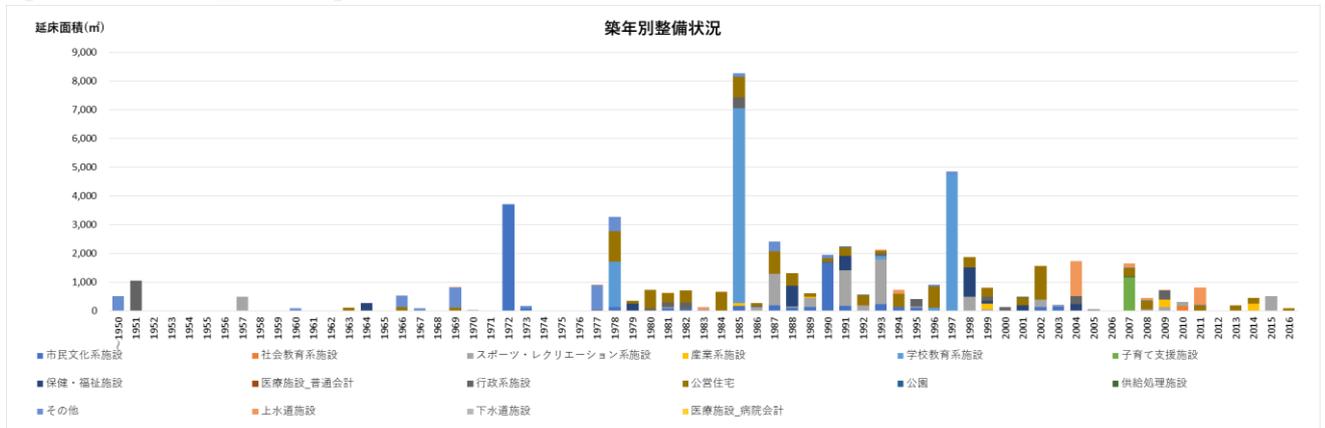
第1節 施設（建物）の保有状況

1 築年別整備状況

本町が保有する建物は、一般的にみられるような高度経済成長期に集中的に整備されたのではなく、やや遅れて1980年代から1990年代を中心に整備されてきました。

延床面積 53,998.98 m²のうち、築30年以上の建物は27,563.8 m²（約51.0%）、築30年未満の建物は26,435.18 m²（約49.0%）となっています。築年数別にみると新旧の建物がほぼ同量であるといえます。

【図表 築年別整備状況】



	築20年未満	築20-30年	築30-40年	築40年以上	合計
延床面積(m ²)	10,194.45	16,240.73	15,490.30	12,073.50	53,998.98
割合(%)	18.9	30.1	28.7	22.4	100.0

建物の総保有面積 **5.4万 m²**

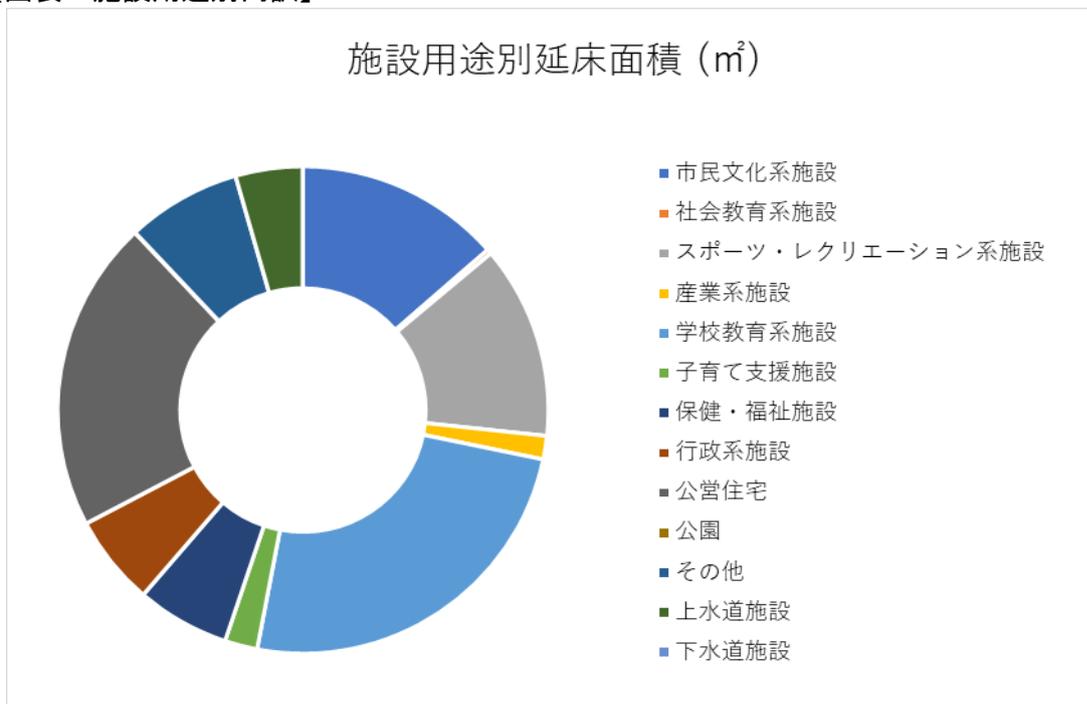
住民1人あたりの延床面積 **11.56 m²** 2015年時点人口(4,670人)

※本計画対象以外の建物も含む。

2 施設用途別内訳

施設用途別にみると、学校施設の延床面積が多く、公共施設全体の約 24.7%、公営住宅が約 20.7%を占めています。

【図表 施設用途別内訳】



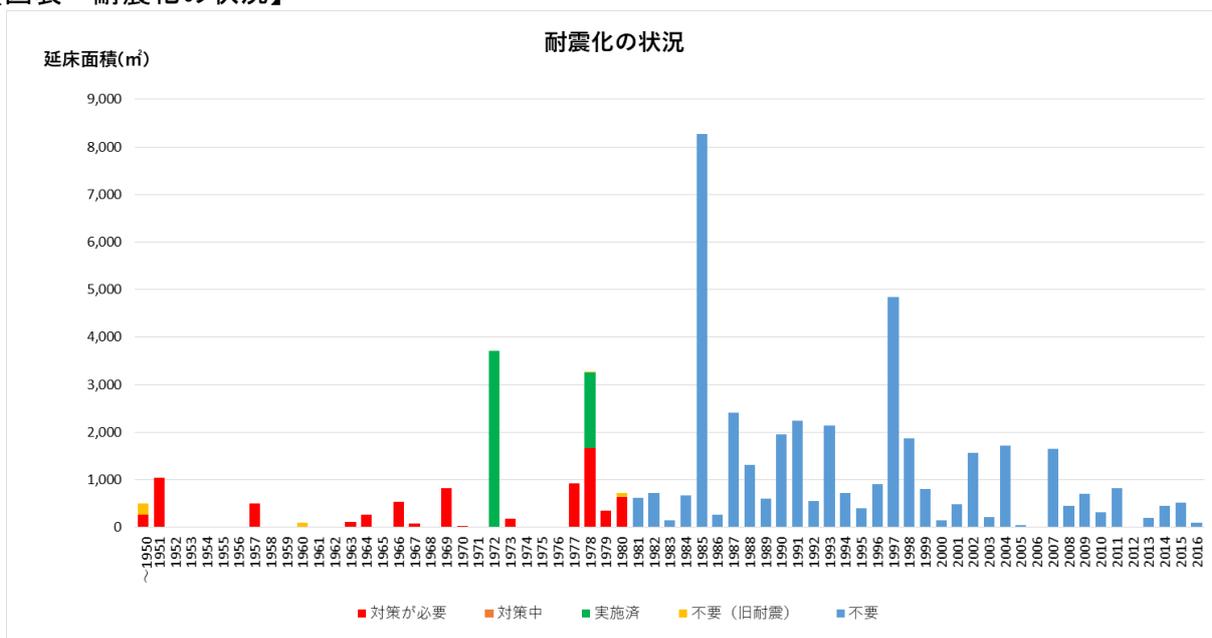
	延床面積(㎡)	割合(%)
市民文化系施設	7,329.92	13.57%
社会教育系施設	165.00	0.31%
スポーツ・レクリエーション系施設	6,922.54	12.82%
産業系施設	840.25	1.56%
学校教育系施設	13,361.50	24.74%
子育て支援施設	1,162.00	2.15%
保健・福祉施設	3,316.00	6.14%
行政系施設	3,232.00	5.99%
公営住宅	11,182.06	20.71%
公園	8.00	0.01%
その他	4,082.71	7.56%
上水道施設	2,393.00	4.43%
下水道施設	4.00	0.01%
合計	53,998.98	100.00%

3 耐震化の状況

1981年（昭和56年）以前の建物は旧建築基準法に基づいて建築を行っているため、原則として耐震化改修を行わなければなりません。建築基準法施行令改正によりいわゆる新耐震基準が施行された1981年（昭和56年）6月1日以降に建設された施設が全体の延床面積比で約76%となっています。一方、いわゆる旧耐震基準で施工された施設は約24%となっています。

本町では順次、大規模な建物から耐震化を進めていますが、耐震調査が終わっていない施設（建物）も一定数保有しています。

【図表 耐震化の状況】



※不要（旧耐震）は、耐震調査を実施し不要と判断された建物及び倉庫等の常時人の出入りがない小規模な建物

第2節 施設関連経費の推移

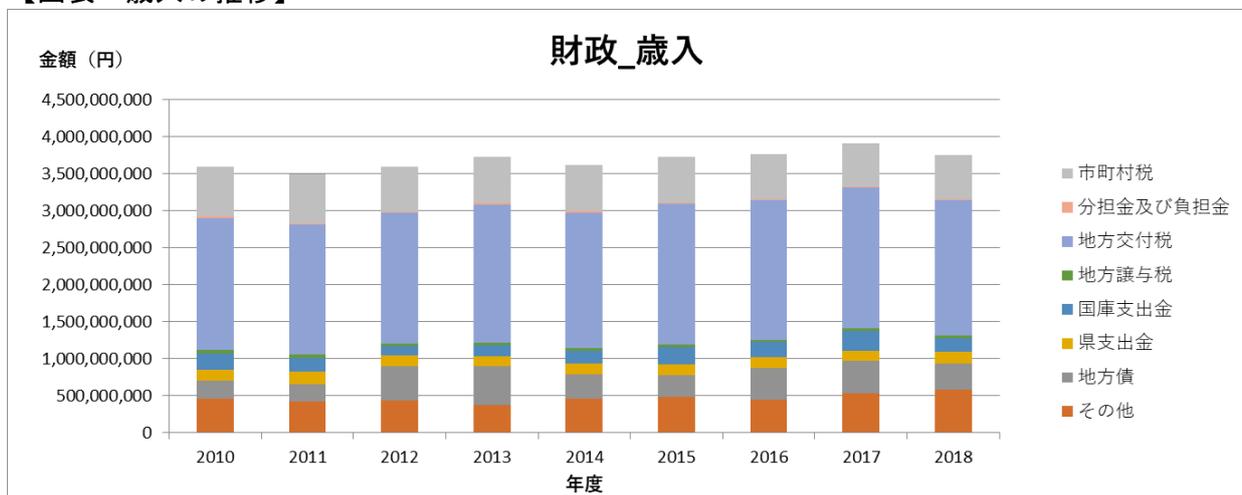
1 歳入の状況

本町の歳入は、2018年度（平成30年度）の決算額は37.5億円となりました。

一般財源（地方税、地方交付税、その他一般財源）については、概ね30億円前後で推移しており、そのうち約6割を地方交付税にてまかなっている一方で、町税及び分担金、負担金、使用料、手数料等の自主財源が歳入総額に占める割合は2割程度にとどまり、近年では減少傾向にあります。

近年の社会経済情勢のなか、かつてのような経済成長も見込まれず、生産年齢人口の減少に伴う住民税、固定資産税などの減少が想定されますので、これらの推移と影響を思量する必要があります。

【図表 歳入の推移】



	市町村税	分担金及び負担金	地方交付税	地方譲与税	
2010	669,147,000	21,078,000	1,791,350,000	44,396,000	(単位：円)
2011	671,918,000	18,555,000	1,756,692,000	43,074,000	
2012	606,687,000	17,647,000	1,769,507,000	40,486,000	
2013	623,200,000	16,761,000	1,875,818,000	33,990,000	
2014	620,986,000	17,071,000	1,841,031,000	29,348,000	
2015	611,395,000	17,017,000	1,907,023,000	31,155,000	
2016	599,339,000	19,168,000	1,887,262,000	30,993,000	
2017	589,731,000	16,926,000	1,900,560,000	32,277,000	
2018	587,356,000	17,140,000	1,836,861,000	32,530,000	
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	歳入合計
2010	219,646,000	142,812,000	249,100,000	455,584,000	3,593,113,000
2011	192,460,000	161,483,000	235,800,000	423,265,000	3,503,247,000
2012	123,002,000	144,914,000	459,733,000	434,619,000	3,596,595,000
2013	142,391,000	140,877,000	525,343,000	369,302,000	3,727,682,000
2014	169,411,000	144,936,000	333,200,000	460,865,000	3,616,848,000
2015	229,581,000	157,799,000	286,500,000	483,497,000	3,723,967,000
2016	208,771,000	141,366,000	421,900,000	452,211,000	3,761,010,000
2017	266,520,000	134,028,000	446,300,000	529,447,000	3,915,789,000
2018	185,142,000	155,726,000	357,500,000	576,220,000	3,748,475,000

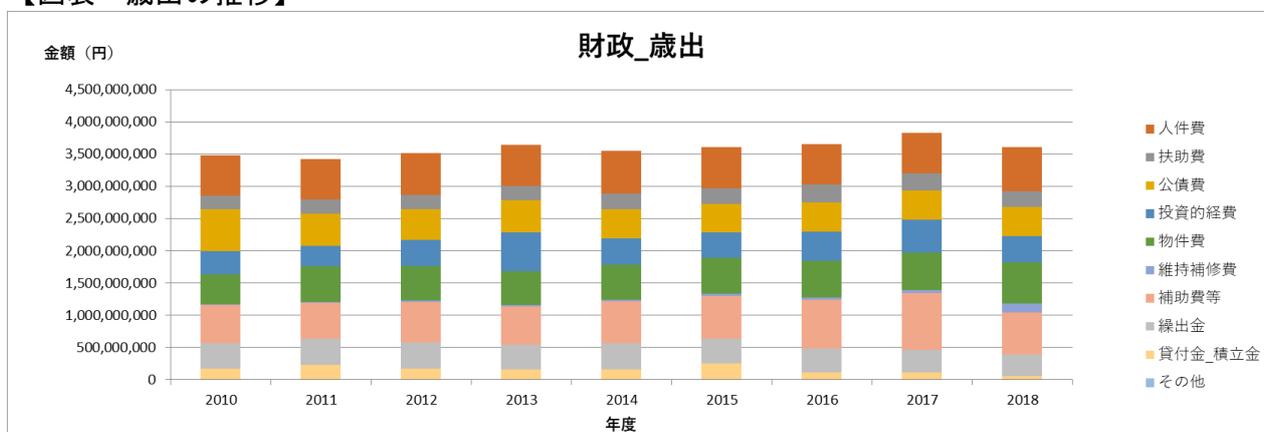
2 歳出の状況

歳出決算額も、歳入同様毎年度 35 億円前後で概ね安定的に推移しています。

義務的経費についてはほぼ横ばいで推移しており、扶助費については、2006 年度（平成 18 年度）の 1.2 億円以降年々増加しており、2018 年度（平成 30 年度）には 2.4 億円と倍になっています。また、公債費については 2006 年度（平成 18 年度）の 5.2 億円から 2015 年度（平成 27 年度）には 4.4 億円と 15%程度減少、人件費は 6.4 億円前後で 10 年間では若干の増加傾向となっています。

投資的経費については、大型の事業を実施した年度は大幅な増額が見られることから、短期的な変動よりも長期的な視点に立った分析が必要となります。それを除けば平均 4.5 億円となっています。

【図表 歳出の推移】

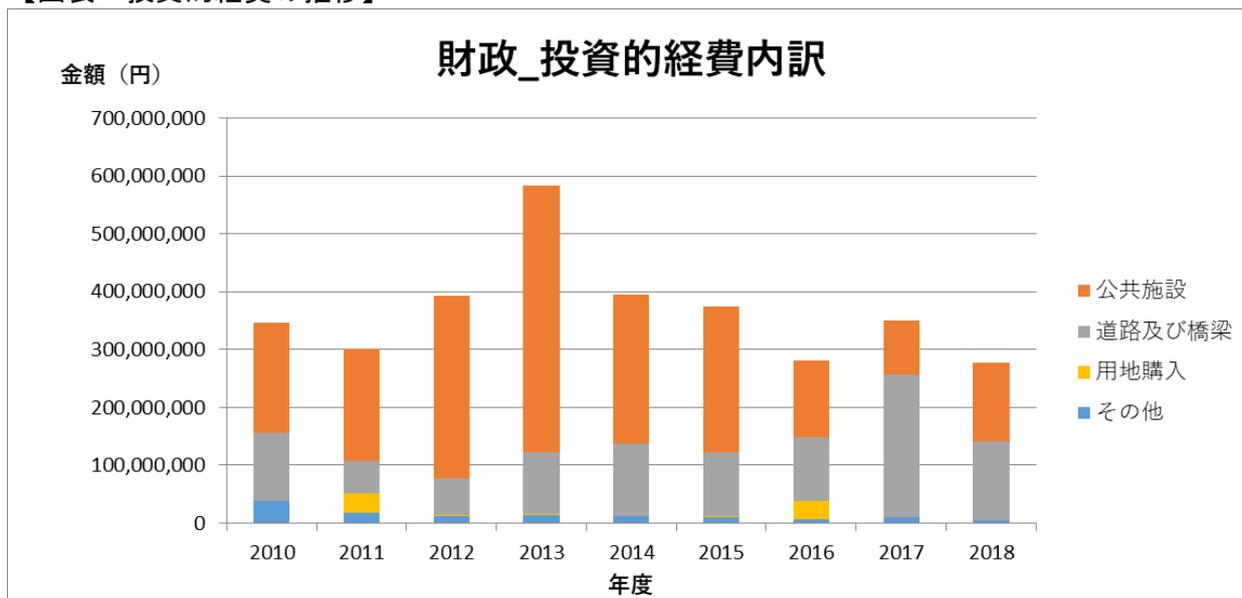


	人件費	扶助費	公債費	投資的経費	物件費	
2010	633,154,000	204,539,000	654,777,000	355,119,000	465,674,000	〈単位：円〉
2011	634,246,000	218,696,000	500,842,000	310,719,000	552,416,000	
2012	649,933,000	220,715,000	482,530,000	401,027,000	542,433,000	
2013	633,985,000	219,898,000	497,348,000	602,281,000	522,691,000	
2014	657,650,000	244,771,000	452,232,000	411,513,000	542,555,000	
2015	643,962,000	248,652,000	437,711,000	390,144,000	563,358,000	
2016	637,807,000	270,534,000	450,159,000	460,374,000	572,805,000	
2017	633,392,000	260,296,000	453,747,000	511,147,000	587,130,000	
2018	682,994,000	241,732,000	463,405,000	405,668,000	639,056,000	
	維持補修費	補助費等	繰出金	貸付金_積立金	その他	歳出合計
2010	14,320,000	595,568,000	393,251,000	166,146,000	0	2,828,425,777
2011	13,788,000	557,607,000	408,172,000	227,406,000	0	3,423,892,000
2012	19,506,000	630,250,000	404,614,000	168,395,000	0	3,519,403,000
2013	23,789,000	598,915,000	381,958,000	157,232,000	0	3,638,097,000
2014	26,163,000	644,433,000	409,983,000	157,454,000	0	3,546,754,000
2015	32,160,000	666,256,000	380,739,000	248,369,000	0	3,611,351,000
2016	28,354,000	759,632,000	363,467,000	115,848,000	0	3,658,980,000
2017	42,545,000	880,267,000	354,467,000	107,380,000	0	3,830,371,000
2018	135,040,000	650,124,000	341,502,000	48,628,000	0	3,608,149,000

3 投資的経費の状況

投資的経費のうち、公共施設に係る投資的経費と道路及び橋りょうに係る投資的経費の割合は、大型事業の有無により、年度によるバラつきが大きく、2018年度（平成30年度）決算では、公共施設に約1.4億円、道路及び橋りょうに用地取得費と合わせて1.4億円が支出されています。過去9年間では毎年平均3.7億円程度が支出されています。なお、公共施設への平均の支出は、毎年平均2.3億円程度が支出されています。

【図表 投資的経費の推移】



	公共施設	道路及び橋梁	用地購入	その他	合計
2010	190,604,000	118,153,000	140,000	37,608,000	346,505,000
2011	194,387,000	55,301,000	33,884,000	17,538,000	301,110,000
2012	316,486,000	62,620,000	2,754,000	11,797,000	393,657,000
2013	460,657,000	105,623,000	3,465,000	13,131,000	582,876,000
2014	258,138,000	125,103,000	133,000	11,441,000	394,815,000
2015	251,965,000	110,108,000	3,079,000	9,730,000	374,882,000
2016	132,337,000	111,027,000	31,120,000	6,848,000	281,332,000
2017	94,752,000	245,430,000	0	10,490,000	350,672,000
2018	135,251,000	136,000,000	420,000	4,981,000	276,652,000

〈単位：円〉

第3章 今後見込まれる施設維持管理・更新にかかる費用

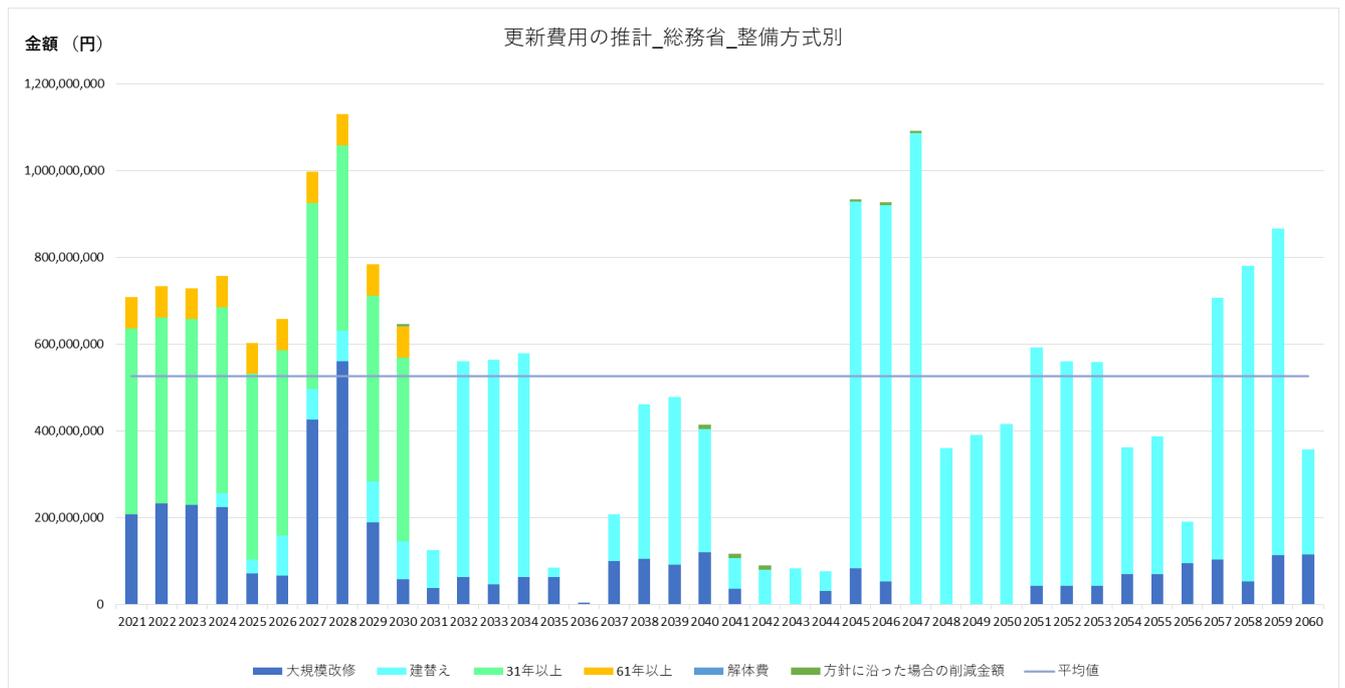
第1節 施設維持管理・更新にかかる費用の推計結果

1 総務省整備方式による更新費用の推計

本町が所有する対象公共施設を、総務省が示す方式で、すべて大規模改修を実施し、現状規模のまま建て替えた場合、今後40年間で210.4億円（年平均5.3億円）の更新費用がかかる見込みとなります。（推計条件は次節参照）

過去の公共施設にかかる投資的経費は、過去9年平均で約2.3億円でしたが、今後は更新費用が足りなくなる状況となるうえ、人口減少や高齢化に伴う、税収減や社会保障費の増加が見込まれるため、公共施設の更新費用の財源はさらに不足することが懸念されます。

【図表 将来更新費用推計】



- ◎ 今後40年間改修費用 **82.1億 円**
- ◎ 今後40年間建替費用 **128.3億 円**
- ◎ 1年あたり整備額 **5.3億 円**

第2節 推計条件

1 推計条件

前節の推計にあたり、下記の条件で算定を行いました。

- 計算方法：延べ床面積×更新単価（※下記図表参照）
 - ◇ 耐用年数経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定して計算。
- 大規模改修単価：建替えの6割と想定し、この想定単価を設定する。
- 耐用年数：標準的な耐用年数とされる60年を採用することとする。
- 大規模改修：建設後30年で行うものとする。
- 経過年数が31年以上50年までのもの：今後10年間で大規模改修を行うものとして計算。
- 経過年数が51年以上のもの：大規模改修は行わずに60年を経た年度に建替えるとして計算。
- 耐用年数が超過しているもの：今後10年間で均等に更新するものとして計算。
- 建替え期間：設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、3年間として計算。
（用地買収期間は含まず）
- 修繕期間：設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、2年間として計算。

【図表 更新費用推計に関する設定・更新単価】

施設用途分類	大規模改修に必要な単価(円/m ²)	建替に必要な単価(円/m ²)
市民文化系施設	250,000	400,000
社会教育系施設	250,000	400,000
スポーツ・レクリエーション系施設	200,000	360,000
産業系施設	250,000	400,000
学校教育系施設	170,000	330,000
子育て支援施設	170,000	330,000
保健・福祉施設	200,000	360,000
医療施設（普通会計）	250,000	400,000
行政系施設	250,000	400,000
公営住宅	170,000	280,000
公園	170,000	330,000
供給処理施設	200,000	360,000
その他	200,000	360,000

【図表 更新費用推計に関する設定・改修周期】

建替え
更新周期 60 年 建替え期間 3 年
現時点で積み残している建替えの処理 今後、10 年間で改修

大規模改修
改修周期 30 年 改修期間 2 年
現時点で積み残している大規模改修の処理 今後、10 年間で改修

第4章 施設整備の基本的な方針等

第1節 施設マネジメントの基本方針

(「上松町公共施設等総合管理計画」より抜粋)

1 点検・診断等の実施

- (ア) 施設の異常や故障の早期発見により、利用者の安全を確保します。
- (イ) 点検結果より健全度を算定し、修繕・更新計画へ反映します。

2 維持管理・修繕・更新等の実施方針

- (ア) 公共施設等の維持管理・修繕・更新等に当たっては、トータルコストの縮減、財政の平準化を念頭に計画的に実施します。
- (イ) 更新に際しては、施設利用者や施設管理者のニーズを十分に把握し分析するとともに、施設の複合化などについても検討します。

3 安全確保の実施方針

- (ア) 日常的な点検を実施することで、危険性の迅速な発見に努めます。
- (イ) 点検・診断等により高い危険性が認められた場合は、安全確保を最優先とし、速やかに措置を講じます。
- (ウ) 防災上の面から高度の危険性が認められた施設に関しては、利用見込みなども勘案し、統廃合・除却等を検討します。

4 耐震化の実施方針

- (ア) 耐震性能が劣る施設について、施設の利用状況・重要性等を検討したうえで、耐震対策を計画的・効果的に行い、地震発生時の住民の安全確保、避難所の確保、復旧活動拠点の機能維持・発揮等を目指します。
- (イ) 公共施設等は、災害時の防災拠点や物資、人員の輸送施設として、重要な機能を担っており、発災時において、適確に機能を発揮できるよう、引き続き防災・耐震性能等の向上を進めます。
- (ウ) 今後新設する施設は、災害発生時の拠点施設としての機能なども考慮した計画、設計となるよう配慮します。

5 長寿命化の実施方針

- (ア) 定期的な点検・診断に基づく計画的な予防保全型の管理によって、公共施設等の長寿命化を図っていきます。
- (イ) 施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストを縮減し、財政負担の平準化に繋がっていきます。

6 統合や廃止の推進方針

- (ア) 今後の人口・財政見通しを踏まえ、また施設の利用状況を勘案して、施設の複合化、統合、廃止等について取り組んでいくこととします。
- (イ) 公共施設に関しては、住民ニーズの変化などに対応し、施設の複合化や統廃合、用途変更などを行い、施設規模へと施設総量の適正化・スリム化に努め、トータルコストの縮減に努めます。

7 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- (ア) 職員の維持保全に係る技術力向上を図るため、国や県等が実施する資格・研修制度や講習会等を積極的に活用します。
- (イ) 点検・診断等の委託業者や利用団体などと連携し、情報共有することで、施設の状況を把握できる体制を構築します。

<基本目標>

本町の公共建築物の人口一人あたりの延床面積は、県内の類似団体と比較しても平均より少なく、現状でも過大な施設総量ではありませんが、将来的な人口減少・人口構造の変化などの社会環境に対応するためには、中長期的には施設に対する需要の減少を想定する必要があり、特に長寿命化を実施する施設については、将来の必要性・利活用方法の検討を進める必要があります。

第2節 維持管理の実施方針

1 改修・更新の実施

当町の公共建築物（建物）の構造として多くを占める RC（鉄筋コンクリート）造の耐用年数は、一般的に 60 年程度、また、躯体以外の屋上防水や内外装、空調や給排水設備類の耐用年数は 10～20 年程度とされていますが、健全に使用し続けるためには、定期的なメンテナンスを行うことが必要です。今後は、これらを踏まえ「予防保全型の管理」を行うこととし、健全度を保ちながら、耐用年数を延ばし、長寿命化を図っていくため、適切な時期での大規模改修工事や計画的な修繕を行っていきます。

(1) 予防保全型の管理

「予防保全」の考え方を取り入れた長寿命化を図っていくためには、建物を構成する主要な部位別に改修周期を設定する必要があることから、「建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人 建築保全センター）」の標準耐用年数を参考に、下表のとおり部位別改修周期を設定します。

【図表 部位別改修周期】

部位項目		標準耐用年数
建築	外壁	20～30 年
	屋上防水	20～30 年
電気	受変電設備	30 年
	電灯設備	20 年
機械	空調設備	20 年
	給水設備	20～30 年
	エレベーター	30 年

※資料：建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人 建築保全センター）参照

(2) 劣化状況調査の実施と部位修繕

適切な改修時期を把握するためには、上記の改修周期を参考としつつ、実際の劣化状況を把握する必要があります。

各部位の劣化状況については、5 年の周期で簡易劣化調査を実施します。（簡易劣化調査の評価基準は図表を参照）

調査の結果、C、D 評価の部位は、修繕・改修が必要と判断し、D 評価の部位は 5 年以内、C 評価の部位は、10 年以内を目途に部位修繕を実施します。

（ただし、建替え、長寿命化改修、大規模改修を部位修繕期間内に実施する場合を除く）

【図表 簡易劣化調査の目視による評価基準（屋根・屋上、外壁）】

評価	基準
A	概ね良好
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある

【図表 簡易劣化調査の経過年数による評価基準（内部仕上、電気設備、機械設備）】

評価	基準（部位の全面的な改修年からの経過年数）
A	20年未満
B	20～40年未満
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

2 点検・診断の実施

躯体の長寿命化を図るためには、計画的に改修工事などを行うだけでなく、日常的・定期的に施設の点検や清掃、情報管理を行う必要があります。日常的・定期的に維持管理を行うことで建物の劣化状況を詳細に把握でき、より早急に異常に気付くことができるため、施設に応じた維持、改修内容や時期を計画に反映することができます。

劣化問診票による点検を継続して行い、点検結果を基に、劣化の状況から整備レベル、維持管理等のメンテナンスの現状を把握します。なお点検結果から特に問題のある施設については、目視・打診・触診による現地調査を行い、劣化状況から原因や改修方法、仕様や更新周期等を詳細に把握し、改善につなげます。

3 安全確保の実施

点検診断により明らかになった危険部位は、現地状況を確認の上、適正に修繕を実施します。また、住民や利用者の安全を第一に、事故になりうる危険箇所には立入禁止等の処置をします。

今後は、点検による問題個所の早期発見と修繕の実施により、危険部位を未然に防ぎ、定期的に屋上、屋根等の清掃を行って劣化の進行を遅らせ、長寿命化を図ります。

第3節 施設長寿命化の基本方針

当町は前節の維持管理方針に基づき、施設長寿命化を図ることとし、その基本方針として下記のように運用します。

1 長寿命化対象施設の選定

- (ア) 直近 20 年以内に建てられた建物については、大規模な改修を行う前に躯体の健全性調査を実施し、健全性評価基準に基づき良好であれば目標耐用年数まで使用する。
- (イ) 20 年以上経過している建物でも躯体の健全性調査を実施し、施設の利用状況を考慮しつつ、必要に応じて健全性調査を実施し、良好であれば長期に使用することとし、目標耐用年数まで使用する。
- (ウ) 今後、建替えを行った場合もしくは新たに建設された建物は、原則として長寿命化対象施設とし、維持を図る。
- (エ) 健全性調査結果が良好な施設、耐用年数が経過していない建物でも必ず長寿命化や使用し続けるのではなく、統合や廃止の推進方針にも考慮しつつ人口減や需要に基づいた、統合、廃止、売却、用途変更等の検討を行う。

2 目標耐用年数の設定

- (ア) 使用する建物は、法定耐用年数以上使用することとする。
- (イ) 鉄筋コンクリート造と鉄骨造については、躯体の健全性調査結果が良好な場合には、80 年以上使用する。
- (ウ) 躯体の健全調査結果で不良となった場合、需要等から長寿命化を行わない場合は 60 年使用する。

(1) 目標耐用年数

建物の寿命は、構造、立地条件、使用状況の違いなどによっても大きく左右されますが、階高や広さなどに余裕を持った建物や新耐震基準以降に建てられた建物は、計画的な保全を実施すれば約 100 年以上の長寿命化も可能とされています。

長寿命化のメリットとして「建替えと比較して構造体（柱や梁）の工事が大幅に減少するため、工事費用の縮減や工期の短縮を行うことが出来る」、「長寿命化改修への転換により、限られた予算でより多くの施設の安全性を確保しつつ、機能の向上を図ることができる」などが挙げられます。

本町においては、耐用年数を超えて使用することを原則とし、耐用年数を目安に実施する詳細診断の結果により、長寿命化改修が可能な施設は長寿命化することとします。

長寿命化の目標耐用年数については、下表に示す「建築物の耐久計画に関する考え方(日本建築学会)」に基づき、鉄筋コンクリート造の建物を 80 年と設定します。

健全性調査で不良と判断された建築物は、標準で 60 年間使用することとします。

【図表 建築物全体の望ましい目標耐用年数】

用途	構造種別	鉄筋コンクリート造、鉄骨造	
		高品質の場合	普通の品質の場合
学校、官庁 事務所など		80 ~ 100 年以上	50 ~ 80 年以上

※資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

(2) 躯体の健全性評価

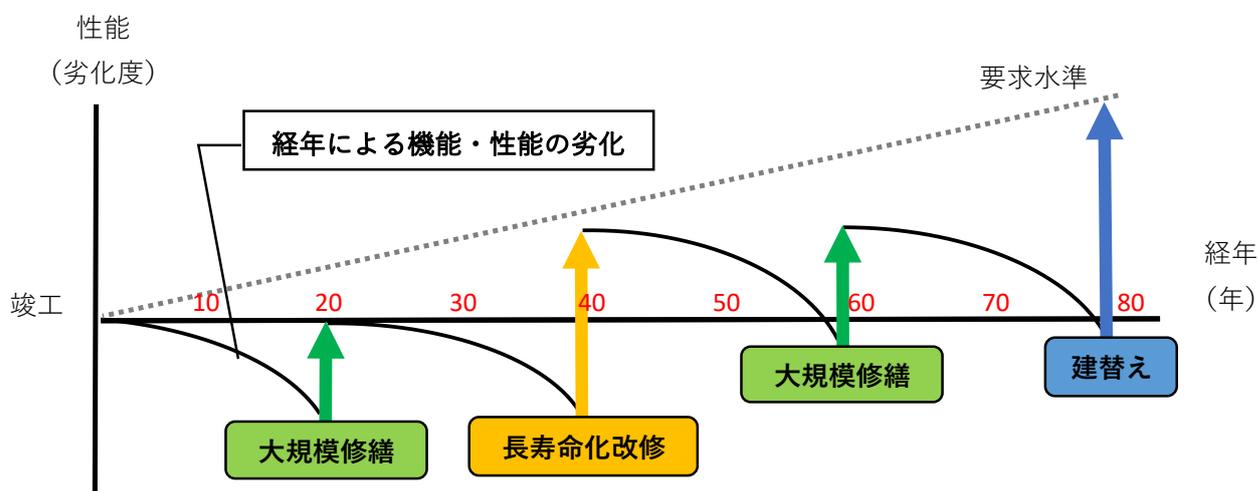
鉄筋コンクリートに生じる劣化には、①コンクリートの変質・組織崩壊・ひび割れ・欠けなどのコンクリート自身の劣化と、②鉄筋の腐食とに大別できます。通常、これらの劣化現象は単独で発生しますが、個々の劣化現象は互いに助長しあう関係にあります。

例えば、鉄筋がコンクリートの中性化や塩分の侵入によって腐食すると、コンクリートのひび割れや剥落などの劣化を招きます。また、コンクリートに組織崩壊やひび割れが生じると、鉄筋の腐食が促進されます。その為、次ページに記載の評価基準に従い、判断を行います。

【図表 構造躯体の健全性評価基準】

<p>1) 圧縮強度 (数値が大きいほど強い)</p>
<p>標準的なコンクリートの圧縮強度が、13.5N/mm²以下では十分な強度とはいえず改修に適さないため、13.6N/mm²以上を「長寿命化が可能」と判断する。</p>
<p>2) 中性化深さ (数値が小さいほど健全)</p>
<p>大気中の二酸化炭素がコンクリートに侵入し中性化が内部の鉄筋まで進行すると、鉄筋の腐食によりコンクリートと鉄筋の一体性が失われ、建物が本来の力を発揮できないため、長期間の使用に支障をきたすおそれがある。このため中性化の深さが、最低限のかぶり厚さ (コンクリート表面から鉄筋までの厚さ) である 30mm に達していない場合を「長寿命化が可能」と判断する。</p>

【図表 長寿命化のイメージ (目標耐用年数 80 年)】



大規模修繕	長寿命化改修	
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、耐用性、快適性、省エネ性を確保するための機能向上工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障、不具合修繕 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障、不具合修繕 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート中性化対策 ・鉄筋の腐食対策 ・バリアフリー改修 ・外壁、屋上の断熱化改修 ・省エネルギー機器への更新

第4節 保全優先度の判定

1 保全優先度の分類

予防保全型の改修周期を基に、劣化状況の評価指標である施設健全度と施設重要度を考慮して、改修等の対策の優先順位を検討します。判定結果は、下記の図表のように整理します。

【図表 保全優先度判定表】

	施設健全度			
	I (40点未満)	II (40点以上 50点未満)	III (50点以上 60点未満)	IV (60点以上)
施設 重要度 I	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ
施設 重要度 II	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ
施設 重要度 III	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	Ⓕ
保全優先順位 表の見方	<p>Ⓐ群に分類した施設が最も保全優先度が高く、Ⓓ群以降は、その各アルファベット順に優先度は低くなります。各群内での優先度は、原則として、単位あたりのコストが高い施設を優先しますが、各施設の状況等を考慮して判断します。</p>			

2 施設健全度の算出

施設健全度は、下記の計算式で算出しています。

【健全度の計算式】

$$\text{健全度} = \text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(計算例)

	評価		評価点		配分	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	= 204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8	= 800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	= 292
					計	3,148
						÷ 60
					健全度	52

【図表 部位のコスト配分】

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60.0

※部位のコスト配分は、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を参考に設定しています。

部位別劣化度の評価は、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に下表のと通りの4段階で評価しています。

【図表 目視による評価基準（屋根・屋上、外壁）】

評価	基準	配点
A	概ね良好	100点
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	75点
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	40点
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	10点

【図表 経過年数による評価基準（内部仕上・電気設備・機械設備）】

評価	基準（経過年数）	配点
A	20年未満	100点
B	20～40年未満	75点
C	40年以上	40点
D	経過年数に関わらず著しい劣化が著しい場合	10点

施設健全度の点数に関わらず、C、D評価の部位は、修繕・改修が必要とし、D評価の部位は、5年以内に部位修繕を実施し、C評価の部位は、10年以内に部位修繕を実施します。

（ただし、建替え、長寿命化改修、大規模改修を部位修繕期間内に実施する場合を除く）

また劣化状況調査結果が行われていない棟は、下記の式にて簡易的に算定します。

$$\text{施設健全度} = \frac{[\text{法定耐用年数}] - [\text{築年数}] + [\text{最新の大規模改修時点の築年数}]}{[\text{法定耐用年数}]} \times 100$$

※簡易算定では法定耐用年数が経過している建物は「0点」となります。

3 施設重要度の判定

施設重要度は、防災の観点から以下の図表のとおり、定量的に3段階に重要度を分類しました。(※定量的に分類をしているため、施設の利用状況・用途等は考慮していない)

重要度	区分	例
I	庁舎等、学校施設等 避難所指定のある施設	役場、小中学校、保育所、公民館、総合 体育館など 消防施設・避難施設
II	避難所指定なし かつ 200 m ² 超または2階以上	公民館(避難所指定なし) 体育館(避難所指定なし) など
III	小規模なもの(200 m ² 以下かつ平屋)	公営住宅(小規模)、公園、その他

4 保全優先度の判定

判定した優先度に従って、対象施設を以下のように整理しました。

これを基に、実施時期の調整を図ります。

施設重要度	施設健全度			
	I (40点未満)	II (40点以上50点未満)	III (50点以上60点未満)	IV (60点以上)
I	<ul style="list-style-type: none"> 上松町役場【廃止】 		<ul style="list-style-type: none"> 上松町公民館【現状維持】 上松小学校【現状維持】 	<ul style="list-style-type: none"> 上松町ひのきの里総合文化センター【長寿命化】 上松中学校【長寿命化】
II	<ul style="list-style-type: none"> 消防第2(旧6)分団萩原詰所【廃止】 消防第2(旧6)分団立町詰所【廃止】 消防第2分団第1部詰所【現状維持】 旧母子センター(上松町子ども未来会議)【貸付】 消防団第3分団車庫【修繕対応(大規模改修を行わない)】 消防正島器具庫【修繕対応(大規模改修を行わない)】 消防見降ポンプ置場【修繕対応(大規模改修を行わない)】 旧西分教場【廃止】 	<ul style="list-style-type: none"> 下河原町民運動公園_社会【現状維持】 去来荘【貸付】 老人憩の家【現状維持】 旧上松技術専門学校(民宿西小川)【貸付】 	<ul style="list-style-type: none"> 旧駒ヶ根荘(松の木寮)【貸付】 	<ul style="list-style-type: none"> せせらぎの里赤沢【現状維持】 赤沢森林交流センター【現状維持】 上松町交流販売施設(よろまいか)【現状維持】 ねぞめホテル【現状維持】 旧萩原小学校体育館【長寿命化】 上松町味噌加工センター【貸付】 上松保育園【長寿命化】 消防第1分団第1部詰所【現状維持】 消防第1分団第2部詰所【長寿命化】 消防第2分団第2部詰所【現状維持】 消防団第3分団詰所【長寿命化】 島防災コミュニティセンター(消防第4分団詰所)【長寿命化】 見降公民館(集会所)【現状維持】 上松町特産品開発センター【貸付】 ふれあい交流広場おぎ(旧萩原小学校)【長寿命化】 ひのきの里総合福祉センター【長寿命化】 高齢者いきいき広場【長寿命化】 上松町デイサービスセンター【貸付】 上松町健康増進センター【現状維持】 見降倉庫(普通倉庫)【修繕対応(大規模改修を行わない)】 旧三紫工場【貸付】
III	<ul style="list-style-type: none"> 寝覚町民運動場広場【修繕対応(大規模改修を行わない)】 天狗山野外音楽堂【修繕対応(大規模改修を行わない)】 赤沢自然休養林観光施設【現状維持】 林道木曾駒山麓線休憩施設【廃止】 ふるさと体験農園施設【現状維持】 上松町栄町研修センター(中間教室)【貸付】 西奥生活改善センター【集約化・統合】 高山林業後継者研修センター【集約化・統合】 上松町陶芸センター【長寿命化】 観音倉庫【現状維持】 野口倉庫(小)【現状維持】 野口倉庫(大)【現状維持】 中学校下教員住宅【現状維持】 見降教員住宅【現状維持】 立町教員住宅【現状維持】 緑町宮前教員住宅【現状維持】 旭町教員住宅【現状維持】 見降事務所【貸付】 天狗山公園便所【現状維持】 焼簀公衆便所【現状維持】 寝覚の床公衆便所【現状維持】 才児牧場【修繕対応(大規模改修を行わない)】 旧駒ヶ根担当区事務所_倉庫(介護相談室 緑)【貸付】 滑川清掃自動車庫【集約化・統合】 焼簀あづまや【現状維持】 金懸小屋【現状維持】 寝覚簡易郵便局【貸付】 栄町職員住宅【現状維持】 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前ふれあい広場ステージ【修繕対応(大規模改修を行わない)】 東小川農業生活改善センター【集約化・統合】 	<ul style="list-style-type: none"> 東奥農業生活改善センター【集約化・統合】 滑川砂防公園【修繕対応(大規模改修を行わない)】 本町公衆トイレ【現状維持】 	<ul style="list-style-type: none"> 赤沢自然体験館【現状維持】 上松町観光情報センター【現状維持】 西中農業生活改善センター【集約化・統合】 台農業生活改善センター【集約化・統合】 東野農業生活改善センター【集約化・統合】 東里農業生活改善センター【集約化・統合】 池島集会所【現状維持】 旭町集会所【長寿命化】 萩原集会所【現状維持】 小田野集会所【現状維持】 小野集会所【現状維持】 倉本集会所【現状維持】 南上条集会所【現状維持】 立町集会所【現状維持】 上松町ライオンセンター【現状維持】

第5章 長寿命化型の実施計画

第1節 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果（推計結果）

施設再編方針及び構造躯体の健全性、部位別劣化度を考慮し、長寿命化の効果を反映した更新費用推計を行います。

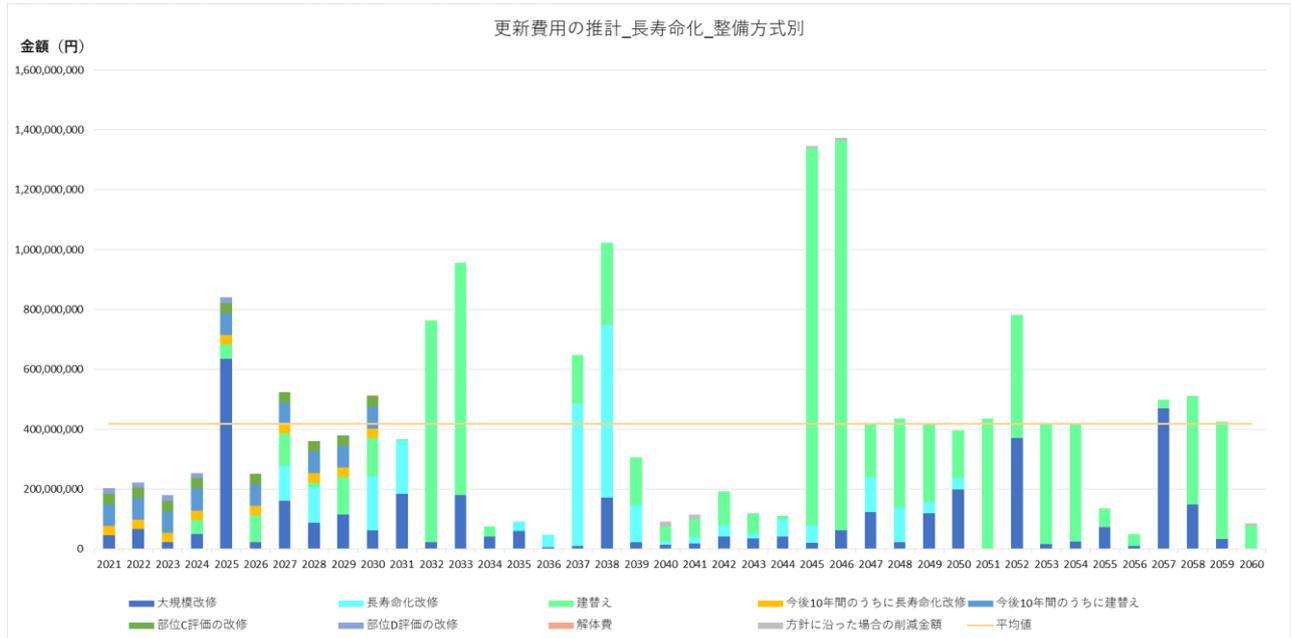
長寿命化型の更新では、予防保全的に長寿命化対策を行うことで、建物を保全し、躯体の耐用年数まで使用することを目指します。長寿命化改修を行い、さらに、部位の更新時期に合わせて20年周期で修繕を行うことで、建築物を使用している間、建築物に求められる性能が確保できる状態を維持できるとされています。従来型から長寿命化型に転換することで、目標耐用年数まで躯体を使用することができます。

具体的な推計条件は以下の通り。

- 計算方法：延べ床面積×更新単価（単価は、第3章第2節図表（P.14）参照）
 - 大規模改修単価：建替えの25%と想定し、この想定単価を設定する。
 - 耐用年数（建替え）：標準的な耐用年数とされる80年を採用することとする。
 - 大規模改修：建設後20年毎（20年・40年）で行うものとする。
 - 長寿命化改修（長寿命化改修ができると判断した建物）：建設後40年で長寿命化改修を行う。
 - 長寿命化改修単価：建替えの60%と想定し、この想定単価を設定する。
 - 耐用年数が超過しているもの：今後10年間で均等に更新するものとして計算。
 - 建替え期間：設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、3年間として計算。（用地買収期間は含まず）
 - 修繕期間：設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、2年間として計算。
 - 部位修繕：劣化診断でC判定・D判定となったものについては費用を計算。

部位修繕費：屋根・屋上	建替え費用の3.50%
外壁	建替え費用の5.10%
内部仕上	建替え費用の5.60%
電気設備	建替え費用の4.00%
機械設備	建替え費用の3.70%
 - C判定となった場合は10年以内に実施。D判定となった場合は5年以内に実施とする。
- ※各施設の用途・利用状況において長寿命化更新を行わないと判断した施設については、20年毎の改修を行い、60年で建て替えをする推計結果となっています。

【図表 長寿命化型の将来更新費用推計】



- ◎ 今後 40 年間改修費用 **69.3 億 円**
- ◎ 今後 40 年間建替費用 **97.9 億 円**
- ◎ 1 年あたり整備額 **4.2 億 円**

上記の条件での試算を行った結果、40 年間（2021 年～2060 年）の維持・更新コスト総額は、167.2 億円（年平均 4.2 億円）という結果となり、従来型の場合より、約 43.2 億円コスト削減が図れる結果となりました。

長寿命化改修に取り組むことにより建替えサイクルが延びることにより建替え費用が抑えられる推計結果となっています。

長寿命化が可能な施設については、コストの削減が見込めますが、過去の投資的経費の平均を上回る年もあるため、長寿命化以外の方針の検討や現在、現時点で耐用年数から長寿命化が難しいと判断している建物についても調査を行い、必要に応じて、長寿命化を検討する必要があります。

また、人口減少に伴い、所有施設を減少（統廃合を含む）していく検討が必要です。

第 2 節 個別施設計画（実施計画）の策定

長寿命化型の将来更新費用推計結果と、保全優先度の判定基準（第 4 章第 4 節）を基に現在の利用状況及び人口減少における利用推移の予測等から今後の施設方針を定めました。

これを基に、10 年間の各施設の実施計画【個別施設計画（実施計画）】（第 6 章（P.29 以降））を作成しました。

その結果、今後の 10 年及び 40 年間の更新費用は下記の図表のようになりました。

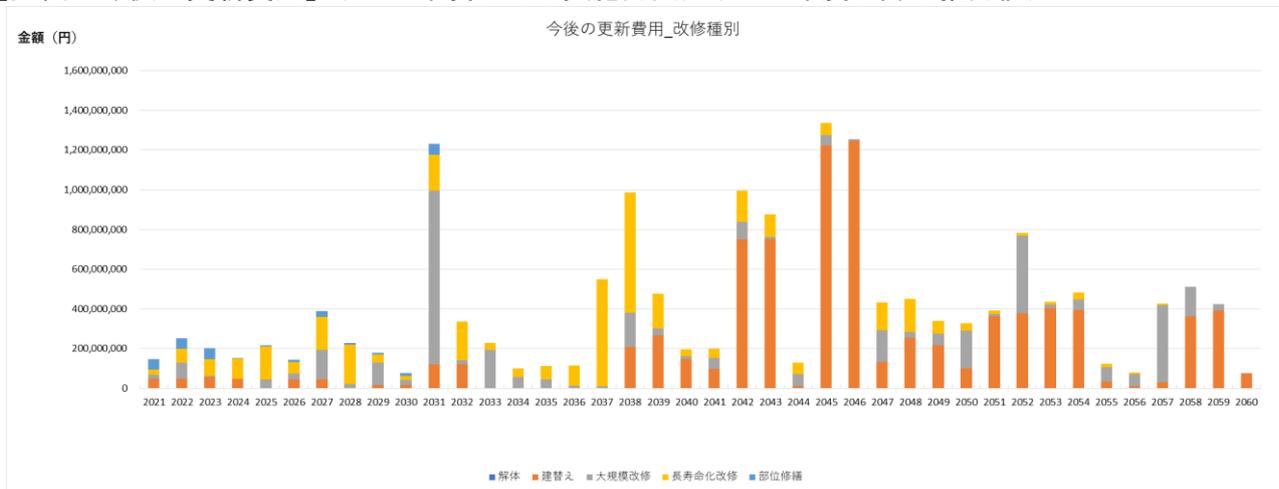
10 年毎の実施計画を作成しつつ、将来更新費用については年度ごとにばらつきが有る為、5 年毎の見直しを図りつつ実現可能な限り平準化を行っていきます。

また前節で推計した際に必要とされた更新費用について、第 1 期の実施計画（2021 年度～2030 年度）では実施しないとし当該期間の費用は、今後費用として必要と見込まれるため、2031 年度にすべて集約化を行いました。その為、2031 年が大きく金額が大きくなっています。

基本的には、今後、町の財政状況や社会情勢、住民ニーズ等の変化を踏まえ、5 年ごとに見直しを図ることとしますが、現在見込まれる改修費用や更新費用は把握ができているため、随時、時期を明確化し実施計画に盛り込んで行きます。

なお、施設ごとの実施計画については、次章（第 6 章）にとりまとめています。

【図表 今後の更新費用】（2030 年度までは実施計画）（2031 年度以降は推計値）



	解体	建替え	大規模改修	長寿命化改修	部位修繕
2021	0	48,060,000	19,600,000	28,020,000	51,661,640
2022	0	49,060,000	81,376,400	68,336,000	54,000,000
2023	0	56,800,000	4,860,000	86,036,000	53,528,480
2024	0	46,800,000	0	104,600,000	2,759,680
2025	0	0	44,940,000	164,996,000	7,982,080
2026	0	44,200,000	29,400,000	60,396,000	10,467,760
2027	0	44,200,000	149,281,720	165,960,000	28,734,160
2028	0	0	23,340,000	196,284,000	10,400,000
2029	0	14,840,000	114,850,000	40,236,000	10,400,000
2030	1,770,000	14,840,000	26,112,900	19,824,000	15,213,380
2031	500,000	120,340,000	874,844,800	181,299,000	53,465,880

（単位：円）

第6章 施設分類別の個別施設計画

個別の実施計画策定にあたり、各施設について、維持管理方針を下記のように類別にしました。

【維持管理方針】

1	長寿命化	長寿命化に基づき長寿命化改修・大規模改修を行い80年使用できる施設とする。
2	現状維持	長寿命化を行わず、大規模改修のみを行い、60年（耐用年数まで）使用したのちに建替え・廃止を行う。
3	廃止	耐用年数を待たずに任意の年度で廃止
4	集約化・統合	別の施設と統合・集約化を行う。当該施設を拡張する場合はその費用を積算し、当該施設自体を廃止する場合は、解体を行う。
5	貸付	任意の年度にて貸付を行う。 今後の改修費用等は発生する。
6	譲渡	任意の年度にて譲渡を行う。
7	売却	任意の年度にて売却を行う。
8	修繕対応 (大規模改修は行わない)	大規模改修は行わず、小規模な修繕で対応を行う。長期的な費用は見込まない。
9	永年保存 (文化財扱い)	建替えは行わず、改修で対応をしていく。

第2章から第5章の内容を踏まえ、施設ごとに個別施設計画の策定を行いました。類型別に概要を記載しますが、各施設については別表を参照とします。

【概要についての補足事項】

- 「現状と課題」において空欄は特筆すべき内容がないものです。
- 「建物の劣化状況調査結果」については、特定の建物のみ実施をしています。
(原則 200 m²以上の建物で人の出入があるもの)
- 「実施計画」において空欄は特筆すべき計画・内容がないものです。

第 1 節 市民文化系施設

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
69	上松町公民館	上松町小川1706	3,710.00	2
93	西奥生活改善センター	小川4709-1	99.00	1
99	西中農業生活改善センター	大字小川4134	107.00	1
100	台農業生活改善センター	大字小川5995-1	82.00	1
101	東奥農業生活改善センター	上松683-1	107.00	1
102	東小川農業生活改善センター	小川880-2	132.00	1
103	東野農業生活改善センター	大字荻原1846	75.00	1
104	東里農業生活改善センター	小川1362	144.00	2
124	池島集会所	南上条1537	69.00	1
128	旭町集会所	朝日町188-51	132.00	1
129	荻原集会所	大字荻原2033	141.00	1
130	見帰公民館（集会所）	見帰2245-9	232.00	1
131	小田野集会所	大字小川3808-100	96.00	1
132	小野集会所	荻原2335-1	91.00	1
134	倉本集会所	大字荻原390-2	181.00	1
135	南上条集会所	南上条1619-1	111.00	1
137	立町集会所	大字荻原1311-1	178.00	1
138	寢覚公民館（上松中学校隣）	小川寢覚 1 7 4 8	156.00	2
432	上松町ひのきの里総合文化センター	上松町大字上松159-4	1,486.92	1

2 現状と課題

(その1)

財産番号	施設名	現状	課題等
69	上松町公民館	役場の機能の一部、図書室・カフェ・フィットネスルーム、会議室として利用。	平成24年に大規模修繕を実施済み。躯体とくに問題なし。
93	西奥生活改善センター	集会所として利用	老朽化は進んでいるが、利用度が高いため廃止は困難。集約化の検討を進める。
99	西中農業生活改善センター	集会所として利用	老朽化が進んでいるが、廃止は難しい。集約化の検討を進める。
100	台農業生活改善センター	集会所として利用	老朽化が進んでいるが、廃止は難しい。集約化の検討を進める。
101	東奥農業生活改善センター	集会所として利用	老朽化が進んでいるが、廃止は難しい。集約化の検討を進める。
102	東小川農業生活改善センター	集会所として利用	老朽化が進んでいるが、廃止は難しい。集約化の検討を進める。
103	東野農業生活改善センター	集会所として利用	老朽化が進んでいるが、廃止は難しい。集約化の検討を進める。
104	東里農業生活改善センター	集会所として利用	廃止は難しい。集約化の検討を進める。
124	池島集会所	住宅内の集会所として利用	老朽化が進んでいるが廃止は難しい状況にある。
128	旭町集会所	地区内の集会所として利用	特になし
129	荻原集会所	地区内の集会所として利用	特になし
130	見帰公民館（集会所）	地区内の集会所として利用	特になし
131	小田野集会所	地区内の集会所として利用	老朽化が進んでいるが小修繕で対応を行う。
132	小野集会所	地区内の集会所として利用	老朽化が進んでいるが小修繕で対応を行う。
134	倉本集会所	地区内の集会所として利用	特になし
135	南上条集会所	地区内の集会所として利用	特になし

(その2)

財産番号	施設名	現状	課題等
137	立町集会所	地区内の集会所として利用	特になし
138	寢覚公民館（上松中学校隣）	地区の集会所として利用	特になし
432	上松町ひのきの里総合文化センター	郡内の文化施設として利用している。	屋根・外壁修繕は平成27年に行った。 舞台・ホール天井が吊り天井などの不具合、 老朽化が進んでいる。

3 建物の劣化状況調査結果

財産 番号	整理 番号	施設名	建物名	所属課	建築年月日	健全度 (点)	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
69	1	上松町公民館	公民館	教育委員会_社会教育係	1973/3/25	70	B	B	B	C	B
69	3	上松町公民館	社会体育館	教育委員会_社会教育係	1973/3/25	40	C	C	C	C	C
93	1	西奥生活改善センター	集会所	総務課_管財係	1973/12/25	31	C	D	C	C	C
99	1	西中農業生活改善センター	集会所	総務課_管財係	1989/2/28	84	B	B	A	B	B
100	1	台農業生活改善センター	集会所	総務課_管財係	1981/12/20	72	C	B	B	B	B
101	1	東奥農業生活改善センター	集会所	総務課_管財係	1988/3/3	51	B	C	C	B	B
102	1	東小川農業生活改善センター	集会所	総務課_管財係	1978/10/31	40	C	C	C	C	C
103	1	東野農業生活改善センター	集会所	産業観光課_農林係	1985/12/22	75	B	B	B	B	B
104	2	東里農業生活改善センター	集会所	産業観光課_農林係	1990/3/22	84	A	A	B	B	B
124	1	池島集会所	集会所	総務課_管財係	1983/2/15	67	A	C	B	B	B
128	1	旭町集会所	集会所	総務課_管財係	2002/11/29	83	A	B	B	A	A
129	1	荻原集会所	集会所	総務課_管財係	1995/2/25	75	B	B	B	B	B
130	1	見婦公民館(集会所)	集会所	総務課_管財係	1994/2/25	64	B	C	B	B	B
131	1	小田野集会所	集会所	総務課_管財係	1985/12/16	84	B	B	A	B	B
132	1	小野集会所	集会所	総務課_管財係	1987/12/18	75	B	B	B	B	B
134	1	倉本集会所	集会所	総務課_管財係	1991/1/18	75	B	B	B	B	B
135	1	南上条集会所	集会所	総務課_管財係	1996/3/1	77	A	B	B	B	B
137	1	立町集会所	集会所	総務課_管財係	1992/2/21	72	C	B	B	B	B
432	1	上松町ひのきの里総合文化センター	文化センター	住民福祉課_厚生係	1990/12/1	75	B	B	B	B	B

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

(その1)

財産番号	施設名	方針	実施計画
69	上松町公民館	現状維持	
93	西奥生活改善センター	集約化・統合	現状維持だが建て替えまでは検討しない。 (修繕で対応) 5年毎に集落の状況を考慮し計画を組み立てる。
99	西中農業生活改善センター	集約化・統合	現状維持だが建て替えまでは検討しない。 (修繕で対応) 5年毎に集落の状況を考慮し計画を組み立てる。
100	台農業生活改善センター	集約化・統合	現状維持だが建て替えまでは検討しない。 (修繕で対応) 5年毎に集落の状況を考慮し計画を組み立てる。
101	東奥農業生活改善センター	集約化・統合	現状維持だが建て替えまでは検討しない。 (修繕で対応) 5年毎に集落の状況を考慮し計画を組み立てる。
102	東小川農業生活改善センター	集約化・統合	現状維持だが建て替えまでは検討しない。 (修繕で対応) 5年毎に集落の状況を考慮し計画を組み立てる。
103	東野農業生活改善センター	集約化・統合	現状維持だが建て替えまでは検討しない。 (修繕で対応) 5年毎に集落の状況を考慮し計画を組み立てる。
104	東里農業生活改善センター	集約化・統合	現状維持だが建て替えまでは検討しない。 (修繕で対応) 5年毎に集落の状況を考慮し計画を組み立てる。
124	池島集会所	現状維持	現状維持だが建て替えまでは検討しない。 5年毎に状況を考慮し、計画を組み立てる。
128	旭町集会所	長寿命化	
129	荻原集会所	現状維持	
130	見帰公民館(集会所)	現状維持	
131	小田野集会所	現状維持	2021 屋根修繕150万円

(その2)

財産番号	施設名	方針	実施計画
132	小野集会所	現状維持	
134	倉本集会所	現状維持	
135	南上条集会所	現状維持	
137	立町集会所	現状維持	2020年度に屋根修繕の実施有
138	寢覚公民館（上松中学校隣）	現状維持	
432	上松町ひのきの里総合文化センター	長寿命化	長寿命化のための具体的調査を2021年度に実施

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
69	-	上松町公民館	-	3,710.00					
69	1	上松町公民館	公民館	2,091.00					
69	3	上松町公民館	社会体育館	1,619.00	42,500,000				
93	-	西奥生活改善センター	-	99.00					
93	1	西奥生活改善センター	集会所	99.00					
99	-	西中農業生活改善センター	-	107.00					
99	1	西中農業生活改善センター	集会所	107.00					
100	-	台農業生活改善センター	-	82.00					
100	1	台農業生活改善センター	集会所	82.00					
101	-	東奥農業生活改善センター	-	107.00					
101	1	東奥農業生活改善センター	集会所	107.00					
102	-	東小川農業生活改善センター	-	132.00					
102	1	東小川農業生活改善センター	集会所	132.00					
103	-	東野農業生活改善センター	-	75.00					
103	1	東野農業生活改善センター	集会所	75.00					
104	-	東里農業生活改善センター	-	144.00					
104	1	東里農業生活改善センター	便所	6.00					
104	2	東里農業生活改善センター	集会所	138.00					
124	-	池島集会所	-	69.00					
124	1	池島集会所	集会所	69.00					
128	-	旭町集会所	-	132.00					
128	1	旭町集会所	集会所	132.00					
129	-	荻原集会所	-	141.00					
129	1	荻原集会所	集会所	141.00					
130	-	見帰公民館(集会所)	-	232.00					
130	1	見帰公民館(集会所)	集会所	232.00					
131	-	小田野集会所	-	96.00					
131	1	小田野集会所	集会所	96.00					
132	-	小野集会所	-	91.00					
132	1	小野集会所	集会所	91.00					
134	-	倉本集会所	-	181.00					
134	1	倉本集会所	集会所	181.00					
135	-	南上条集会所	-	111.00					
135	1	南上条集会所	集会所	111.00					
137	-	立町集会所	-	178.00					
137	1	立町集会所	集会所	178.00					
138	-	寝覚公民館(上松中学校隣)	-	156.00					
138	1	寝覚公民館(上松中学校隣)	公民館	150.00					
138	2	寝覚公民館(上松中学校隣)	物置	6.00					
432	-	上松町ひのきの里総合文化センター	-	1,486.92					
432	1	上松町ひのきの里総合文化センター	文化センター	1,486.92	720,000	5,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
69	-	上松町公民館	-	3,710.00					
69	1	上松町公民館	公民館	2,091.00					
69	3	上松町公民館	社会体育館	1,619.00					
93	-	西奥生活改善センター	-	99.00					
93	1	西奥生活改善センター	集会所	99.00					
99	-	西中農業生活改善センター	-	107.00					
99	1	西中農業生活改善センター	集会所	107.00					
100	-	台農業生活改善センター	-	82.00					
100	1	台農業生活改善センター	集会所	82.00					
101	-	東奥農業生活改善センター	-	107.00					
101	1	東奥農業生活改善センター	集会所	107.00					
102	-	東小川農業生活改善センター	-	132.00					
102	1	東小川農業生活改善センター	集会所	132.00					
103	-	東野農業生活改善センター	-	75.00					
103	1	東野農業生活改善センター	集会所	75.00					
104	-	東里農業生活改善センター	-	144.00					
104	1	東里農業生活改善センター	便所	6.00					
104	2	東里農業生活改善センター	集会所	138.00					
124	-	池島集会所	-	69.00					
124	1	池島集会所	集会所	69.00					
128	-	旭町集会所	-	132.00					
128	1	旭町集会所	集会所	132.00					
129	-	荻原集会所	-	141.00					
129	1	荻原集会所	集会所	141.00					
130	-	見帰公民館(集会所)	-	232.00					
130	1	見帰公民館(集会所)	集会所	232.00	4,732,800				
131	-	小田野集会所	-	96.00					
131	1	小田野集会所	集会所	96.00					
132	-	小野集会所	-	91.00					
132	1	小野集会所	集会所	91.00					
134	-	倉本集会所	-	181.00					
134	1	倉本集会所	集会所	181.00					
135	-	南上条集会所	-	111.00					
135	1	南上条集会所	集会所	111.00					
137	-	立町集会所	-	178.00					
137	1	立町集会所	集会所	178.00					
138	-	寝覚公民館(上松中学校隣)	-	156.00					
138	1	寝覚公民館(上松中学校隣)	公民館	150.00					
138	2	寝覚公民館(上松中学校隣)	物置	6.00					
432	-	上松町ひのきの里総合文化センター	-	1,486.92					
432	1	上松町ひのきの里総合文化センター	文化センター	1,486.92					

※整理番号及び建物名称で「-」となっている行は、施設全体を表す。施設全体での概算費用を記載。(以下、同様)

第2節 社会教育系施設

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
89	赤沢自然体験館	小川入国有林79口林小班	165.00	1

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
89	赤沢自然体験館	案内事務所として利用	特になし

3 建物の劣化状況調査結果

調査実施建物なし。

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
89	赤沢自然体験館	現状維持	

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021 金額(円)	2022 金額(円)	2023 金額(円)	2024 金額(円)	2025 金額(円)
89	-	赤沢自然体験館	-	165.00					
89	1	赤沢自然体験館	赤沢自然体験館	165.00					

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026 金額(円)	2027 金額(円)	2028 金額(円)	2029 金額(円)	2030 金額(円)
89	-	赤沢自然体験館	-	165.00					
89	1	赤沢自然体験館	赤沢自然体験館	165.00					16,500,000

第3節 スポーツ・レクリエーション施設

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
67	下河原町民運動公園_社会	荻原1520-1	1,434.00	12
72	寝覚町民運動場広場	小川2439-1	64.80	2
73	天狗山野外音楽堂	大字上松1932	132.00	1
76	駅前ふれあい広場ステージ	上松159-5	146.75	1
83	去来荘	小川入国有林79口林小班	500.00	1
85	上松町観光情報センター	大字上松159-3	130.00	1
87	赤沢自然休養林観光施設	大字小川4288	192.00	3
88	せせらぎの里赤沢	小川入国有林79口林小班	305.00	1
90	赤沢森林交流センター	小川入国有林79口林小班	265.00	1
92	林道木曾駒山麓線休憩施設	大字小川684-イ	42.00	1
94	ふるさと体験農園施設	大字小川5538	143.00	3
98	上松町交流販売施設（よろまいか）	大字小川3516	409.00	3
117	ねざめホテル	上松1878-3	2,067.99	2
139	旧荻原小学校体育館	大字荻原1216-1	1,091.00	1

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
67	下河原町民運動公園_社会	スポーツ施設+消防団の訓練所として利用。	建物躯体としては特に問題無し。 フェンス+照明関係の更新が必要。 但し、利用状況から費用を利用について検討が必要。
72	寝覚町民運動場広場	テニスコートとして利用	照明設備の更新が必要と思われるが、利用頻度が低い
73	天狗山野外音楽堂	音楽の発表する施設。年に数回の利用のみ。 施設は維持をする方針としている。	照明等の設備関係の老朽化が進んでいる。
76	駅前ふれあい広場ステージ	ステージの下を倉庫として利用。ステージ等はお祭り等に利用。	特になし
83	去来荘	宿泊施設として貸与・運営している。	コロナの関係で今年度は稼働しなかった。 小修繕は貸与先で対応をしている。 森林管理署の管理となっているので、建替えには申請関係が必要。
85	上松町観光情報センター	観光案内所として町が運営。一部事務所の貸し出しあり。	特になし
87	赤沢自然休養林観光施設	観光施設として利用	あづまやが比較的の老朽化が進んでいる。BBQ事業との兼ね合いで修繕を行うか検討。
88	せせらぎの里赤沢	食堂施設として利用	特になし
90	赤沢森林交流センター	事務所として利用	特になし
92	林道木曾駒山麓線休憩施設	観光客用のトイレ。現在は使用禁止。	タンク故障。利用者減少している。
94	ふるさと体験農園施設	ふるさと体験農園として始めたが特定の利用者のための農園として利用している。一部学校が利用している。管理棟にトラクター等の車庫利用。	特になし
98	上松町交流販売施設（よろまいか）	非営利目的の貸会議室として利用。地域おこし協力隊が不定期で利用。	老朽化が若干進んでいる。
117	ねざめホテル	指定管理 宿泊施設	躯体の問題は無いが、設備関係の老朽化が進んでいる。 修繕計画が組まれていない。
139	旧荻原小学校体育館	避難所指定	床・照明・トイレ等の設備関係の更新が必要。付属の旧プールについては取り壊し

3 建物の劣化状況調査結果

財産 番号	整理 番号	施設名	建物名	所属課	建築年月日	健全度 (点)	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
67	2	下河原町民運動公園_社会	休憩所	教育委員会_社会教育係	1993/3/30	50	C	B	C	C	C
67	10	下河原町民運動公園_社会	屋内プール (B&G海洋センター)	教育委員会_社会教育係	1991/5/15	51	B	C	C	B	B
67	11	下河原町民運動公園_社会	管理棟 1 (B&G海洋センター)	教育委員会_社会教育係	1991/5/15	61	B	B	C	B	B
83	1	去来荘	去来荘	総務課_管財係	1957/4/1	44	C	C	C	B	C
88	1	せせらぎの里赤沢	管理棟兼休憩舎	産業観光課_商工観光係	1990/3/20	77	A	B	B	B	B
90	1	赤沢森林交流センター	観光施設	産業観光課_商工観光係	2003/3/31	88	B	A	B	A	A
98	1	上松町交流販売施設 (よろま いか)	本館	産業観光課_商工観光係	1999/2/26	84	B	B	A	B	B
117	1	ねざめホテル	宿泊所 (本館)	総務課_管財係	1993/6/1	82	B	A	B	B	B
117	2	ねざめホテル	宿泊所 (別館)	総務課_管財係	2015/6/5	93	A	A	A	B	B
139	1	旧荻原小学校体育館	体育館	教育委員会_社会教育係	1988/3/5	75	B	B	B	B	B

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
67	下河原町民運動公園_社会	現状維持	建物については直近5年は修繕で対応する。 2022～2023年 設備更新として5000万×2年を見込む
72	寝覚町民運動場広場	修繕対応（大規模改修を行わない）	利用状況を考慮しつつ、利用目的の変更も検討する。
73	天狗山野外音楽堂	修繕対応（大規模改修を行わない）	小修繕で対応する。
76	駅前ふれあい広場ステージ	修繕対応（大規模改修を行わない）	
83	去来荘	貸付	耐震化も行っていない為、すぐに実施計画を組む必要がある。
85	上松町観光情報センター	現状維持	
87	赤沢自然休養林観光施設	現状維持	木工売店は営業終了とともに取壊予定。時期は未定。
88	せせらぎの里赤沢	現状維持	
90	赤沢森林交流センター	現状維持	
92	林道木曾駒山麓線休憩施設	廃止	廃止予定だが、実施年度は未定。
94	ふるさと体験農園施設	現状維持	
98	上松町交流販売施設（よろまいか）	現状維持	
117	ねざめホテル	現状維持	指定管理者との修繕計画を立てることがが優先される。
139	旧荻原小学校体育館	長寿命化	2022年度 プール廃止

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
67	-	下河原町民運動公園_社会	-	1,434.00					
67	1	下河原町民運動公園_社会	管理棟 2	44.00					
67	2	下河原町民運動公園_社会	休憩所	184.00					
67	3	下河原町民運動公園_社会	公衆便所	17.00					
67	4	下河原町民運動公園_社会	広場東屋	26.00					
67	5	下河原町民運動公園_社会	Bコート本部室	20.00					
67	6	下河原町民運動公園_社会	グラウンド整備用具庫	21.00					
67	7	下河原町民運動公園_社会	グラウンド用具庫 1	3.00					
67	8	下河原町民運動公園_社会	グラウンド用具庫 2	2.00					
67	9	下河原町民運動公園_社会	グラウンドバックネット	76.00		50,000,000	50,000,000		
67	10	下河原町民運動公園_社会	屋内プール (B&G海洋センター)	875.00					
67	11	下河原町民運動公園_社会	管理棟 1 (B&G海洋センター)	152.00					
67	12	下河原町民運動公園_社会	ボイラー室 (B&G海洋センター)	14.00					
72	-	寝覚町民運動場広場	-	64.80			4,860,000		
72	1	寝覚町民運動場広場	休憩所	54.00					
72	2	寝覚町民運動場広場	トイレ	10.80					
73	-	天狗山野外音楽堂	-	132.00					
73	1	天狗山野外音楽堂	音楽堂	132.00					
76	-	駅前ふれあい広場ステージ	-	146.75					
76	1	駅前ふれあい広場ステージ	倉庫	146.75					
83	-	去来荘	-	500.00					
83	1	去来荘	去来荘	500.00					
85	-	上松町観光情報センター	-	130.00					
85	1	上松町観光情報センター	観光情報センター	130.00					
87	-	赤沢自然休養林観光施設	-	192.00					
87	1	赤沢自然休養林観光施設	あづまや (上赤沢)	112.00					
87	2	赤沢自然休養林観光施設	公衆便所	55.00					
87	3	赤沢自然休養林観光施設	木工売店	25.00					
88	-	せせらぎの里赤沢	-	305.00					
88	1	せせらぎの里赤沢	管理棟兼休憩舎	305.00					
90	-	赤沢森林交流センター	-	265.00					
90	1	赤沢森林交流センター	観光施設	265.00					
92	-	林道木曾駒山麓線休憩施設	-	42.00					
92	1	林道木曾駒山麓線休憩施設	公衆便所	42.00					
94	-	ふるさと体験農園施設	-	143.00					
94	1	ふるさと体験農園施設	管理センター	75.00					
94	2	ふるさと体験農園施設	格納庫	34.00					
94	3	ふるさと体験農園施設	エゴマ油搾油施設	34.00					
98	-	上松町交流販売施設 (よろま いか)	-	409.00					
98	1	上松町交流販売施設 (よろま いか)	本館	359.00					
98	2	上松町交流販売施設 (よろま いか)	水車小屋	17.00					
98	3	上松町交流販売施設 (よろま いか)	トイレ	33.00					
117	-	ねざめホテル	-	2,067.99					
117	1	ねざめホテル	宿泊所 (本館)	1,551.00					
117	2	ねざめホテル	宿泊所 (別館)	516.99					
139	-	旧荻原小学校体育館	-	1,091.00					
139	1	旧荻原小学校体育館	体育館	1,091.00					

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
67	-	下河原町民運動公園_社会	-	1,434.00					
67	1	下河原町民運動公園_社会	管理棟2	44.00					
67	2	下河原町民運動公園_社会	休憩所	184.00					
67	3	下河原町民運動公園_社会	公衆便所	17.00					
67	4	下河原町民運動公園_社会	広場東屋	26.00					
67	5	下河原町民運動公園_社会	Bコート本部室	20.00					
67	6	下河原町民運動公園_社会	グラウンド整備用具庫	21.00					
67	7	下河原町民運動公園_社会	グラウンド用具庫1	3.00					
67	8	下河原町民運動公園_社会	グラウンド用具庫2	2.00					
67	9	下河原町民運動公園_社会	グラウンドバックネット	76.00					
67	10	下河原町民運動公園_社会	屋内プール (B&G海洋センター)	875.00					
67	11	下河原町民運動公園_社会	管理棟1 (B&G海洋センター)	152.00			2,340,000		
67	12	下河原町民運動公園_社会	ポイラー室 (B&G海洋センター)	14.00					
72	-	寝覚町民運動場広場	-	64.80					
72	1	寝覚町民運動場広場	休憩所	54.00					
72	2	寝覚町民運動場広場	トイレ	10.80					
73	-	天狗山野外音楽堂	-	132.00					
73	1	天狗山野外音楽堂	音楽堂	132.00					
76	-	駅前ふれあい広場ステージ	-	146.75					
76	1	駅前ふれあい広場ステージ	倉庫	146.75					
83	-	去来荘	-	500.00					
83	1	去来荘	去来荘	500.00					
85	-	上松町観光情報センター	-	130.00					
85	1	上松町観光情報センター	観光情報センター	130.00				11,700,000	
87	-	赤沢自然休養林観光施設	-	192.00					
87	1	赤沢自然休養林観光施設	あづまや (上赤沢)	112.00					
87	2	赤沢自然休養林観光施設	公衆便所	55.00					
87	3	赤沢自然休養林観光施設	木工売店	25.00					
88	-	せせらぎの里赤沢	-	305.00					
88	1	せせらぎの里赤沢	管理棟兼休憩舎	305.00				27,450,000	
90	-	赤沢森林交流センター	-	265.00					
90	1	赤沢森林交流センター	観光施設	265.00					
92	-	林道木曾駒山麓線休憩施設	-	42.00					
92	1	林道木曾駒山麓線休憩施設	公衆便所	42.00					
94	-	ふるさと体験農園施設	-	143.00					
94	1	ふるさと体験農園施設	管理センター	75.00					
94	2	ふるさと体験農園施設	格納庫	34.00					
94	3	ふるさと体験農園施設	エゴマ油搾油施設	34.00					
98	-	上松町交流販売施設 (よろま いか)	-	409.00					
98	1	上松町交流販売施設 (よろま いか)	本館	359.00					
98	2	上松町交流販売施設 (よろま いか)	水車小屋	17.00					
98	3	上松町交流販売施設 (よろま いか)	トイレ	33.00					
117	-	ねざめホテル	-	2,067.99					
117	1	ねざめホテル	宿泊所 (本館)	1,551.00					
117	2	ねざめホテル	宿泊所 (別館)	516.99					
139	-	旧荻原小学校体育館	-	1,091.00					
139	1	旧荻原小学校体育館	体育館	1,091.00		117,828,000	117,828,000		

第4節 産業系施設

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
95	高山林業後継者研修センター	大字小川320-1	40.00	1
97	上松町ライスセンター	大字小川5643	259.00	4
114	上松町栄町研修センター（中間教室）	栄町2丁目667-1	92.00	1
133	上松町特産品開発センター	大字小川3428	200.00	1
400	上松町味噌加工センター	大字小川3535-1	249.25	1

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
95	高山林業後継者研修センター	集会所として利用	老朽化が進んでいるが、廃止は難しい。 集約化の検討を進める。
97	上松町ライスセンター	精米所として利用。 管理は委託をしている。	特になし
114	上松町栄町研修センター（中間教室）	養護学校の預かり施設として利用。	老朽化が進んでいるが、修繕依頼等は特になし。
133	上松町特産品開発センター	えごまの開発センターとして貸与。小修繕は町が費用負担をしている。	人の入れ替えがあるが、当面の大きな課題はなし
400	上松町味噌加工センター	みそ工場として貸与。小修繕は町が一部費用負担をしている。	引き続き貸与を続ける。

3 建物の劣化状況調査結果

財産番号	整理番号	施設名	建物名	所属課	建築年月日	健全度 (点)	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
133	1	上松町特産品開発センター	加工場	産業観光課_農林係	2000/3/27	100	A	A	A	A	A
400	1	上松町味噌加工センター	加工場	産業観光課_農林係	2015/1/27	92	A	B	A	A	A

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
95	高山林業後継者研修センター	集約化・統合	現状維持だが建て替えまでは検討しない。 (修繕で対応) 5年毎に集落の状況を考慮し計画を組み立てる。
97	上松町ライスセンター	現状維持	
114	上松町栄町研修センター（中間教室）	貸付	大規模修繕等は見込まず、軽微な修繕は貸与先で対応。
133	上松町特産品開発センター	貸付	引き続き貸与を続ける。
400	上松町味噌加工センター	貸付	

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
95	-	高山林業後継者研修センター	-	40.00					
95	1	高山林業後継者研修センター	研修所	40.00					
97	-	上松町ライスセンター	-	259.00					
97	1	上松町ライスセンター	作業所	138.00					
97	2	上松町ライスセンター	格納庫	100.00					
97	3	上松町ライスセンター	事務所	20.00					
97	4	上松町ライスセンター	トイレ	1.00					
114	-	上松町栄町研修センター(中間教室)	-	92.00					
114	1	上松町栄町研修センター(中間教室)	研修所	92.00					
133	-	上松町特産品開発センター	-	200.00					
133	1	上松町特産品開発センター	加工場	200.00					
400	-	上松町味噌加工センター	-	249.25					
400	1	上松町味噌加工センター	加工場	249.25					

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
95	-	高山林業後継者研修センター	-	40.00					
95	1	高山林業後継者研修センター	研修所	40.00					
97	-	上松町ライスセンター	-	259.00					
97	1	上松町ライスセンター	作業所	138.00				13,800,000	
97	2	上松町ライスセンター	格納庫	100.00				10,000,000	
97	3	上松町ライスセンター	事務所	20.00				2,000,000	
97	4	上松町ライスセンター	トイレ	1.00					
114	-	上松町栄町研修センター(中間教室)	-	92.00					
114	1	上松町栄町研修センター(中間教室)	研修所	92.00					
133	-	上松町特産品開発センター	-	200.00					
133	1	上松町特産品開発センター	加工場	200.00					
400	-	上松町味噌加工センター	-	249.25					
400	1	上松町味噌加工センター	加工場	249.25					

第5節 学校教育系施設

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
37	上松小学校	上松町上松709	6,925.50	8
38	上松中学校	上松町上松1757-1	6,436.00	11

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
37	上松小学校	現時点で168人の生徒が利用 小学生の数は減ってきているが建物の余剰があるわけではない。	2018年に設備系の更新を行っているが、直近としてはグラウンドの照明設備の更新が必要である。
38	上松中学校	現時点で98人の生徒が利用 生徒数は減ってきているが建物の余剰があるわけではない。	劣化が進行してるため、各箇所修繕を行っていく必要がある。

3 建物の劣化状況調査結果

財産番号	整理番号	施設名	建物名	所属課	建築年月日	健全度 (点)	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
37	1	上松小学校	管理・特別教室棟	教育委員会_総務教育係	1986/3/31	53	C	D	B	B	B
37	2	上松小学校	普通教室棟	教育委員会_総務教育係	1986/3/31	53	C	D	B	B	B
37	3	上松小学校	体育館	教育委員会_総務教育係	1986/3/31	53	C	D	B	B	B
38	1	上松中学校	普通教室棟	教育委員会_総務教育係	1997/9/15	77	A	B	B	B	B
38	2	上松中学校	昇降口棟	教育委員会_総務教育係	1997/9/15	86	A	B	A	B	B
38	3	上松中学校	渡り廊下	教育委員会_総務教育係	1997/9/15	77	A	B	B	B	B
38	4	上松中学校	管理・特別教室棟	教育委員会_総務教育係	1997/9/15	61	B	B	C	B	B
38	5	上松中学校	食堂棟	教育委員会_総務教育係	1997/9/15	67	A	C	B	B	B
38	6	上松中学校	体育館	教育委員会_総務教育係	1979/3/10	66	B	B	B	C	C

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
37	上松小学校	現状維持	直近での大規模改修は計画せず、修繕等で対応を行う。
38	上松中学校	長寿命化	直近での大規模改修は計画せず、修繕等で対応を行う。

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
37	-	上松小学校	-	6,925.50					
37	1	上松小学校	管理・特別教室棟	3,762.00					
37	2	上松小学校	普通教室棟	1,538.00					
37	3	上松小学校	体育館	1,429.00					
37	4	上松小学校	屋外トイレ	18.00					
37	5	上松小学校	プール更衣室	132.00					
37	6	上松小学校	倉庫	8.00					
37	7	上松小学校	簡易専用水道	28.00					
37	8	上松小学校	危険物地下タンク	10.50					
38	-	上松中学校	-	6,436.00					
38	1	上松中学校	普通教室棟	1,721.00					
38	2	上松中学校	昇降口棟	393.00					
38	3	上松中学校	渡り廊下	33.00					
38	4	上松中学校	管理・特別教室棟	2,251.00					
38	5	上松中学校	食堂棟	286.00					
38	6	上松中学校	体育館	1,581.00					
38	7	上松中学校	プール機械室	41.00					
38	8	上松中学校	プール更衣室	73.00					
38	9	上松中学校	焼却施設	16.00					
38	10	上松中学校	倉庫	26.00					
38	11	上松中学校	倉庫	15.00					

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
37	-	上松小学校	-	6,925.50					
37	1	上松小学校	管理・特別教室棟	3,762.00					
37	2	上松小学校	普通教室棟	1,538.00					
37	3	上松小学校	体育館	1,429.00					
37	4	上松小学校	屋外トイレ	18.00					
37	5	上松小学校	プール更衣室	132.00					
37	6	上松小学校	倉庫	8.00					
37	7	上松小学校	簡易専用水道	28.00					
37	8	上松小学校	危険物地下タンク	10.50					
38	-	上松中学校	-	6,436.00					
38	1	上松中学校	普通教室棟	1,721.00					
38	2	上松中学校	昇降口棟	393.00					
38	3	上松中学校	渡り廊下	33.00					
38	4	上松中学校	管理・特別教室棟	2,251.00		10,400,000	10,400,000	10,400,000	10,400,000
38	5	上松中学校	食堂棟	286.00					4,813,380
38	6	上松中学校	体育館	1,581.00					
38	7	上松中学校	プール機械室	41.00					
38	8	上松中学校	プール更衣室	73.00					
38	9	上松中学校	焼却施設	16.00					
38	10	上松中学校	倉庫	26.00					
38	11	上松中学校	倉庫	15.00					

第6節 子育て支援施設

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
70	上松保育園	緑町3-5	1,162.00	1

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
70	上松保育園	利用者100人弱（3歳児以下も含む）	特になし

3 建物の劣化状況調査結果

財産 番号	整理 番号	施設名	建物名	所属課	建築年月日	健全度 (点)	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
70	1	上松保育園	保育園	教育委員会_上松保育園	2008/2/29	78	C	B	B	A	A

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
70	上松保育園	長寿命化	

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
70	-	上松保育園	-	1,162.00					
70	1	上松保育園	保育園	1,162.00					

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
70	-	上松保育園	-	1,162.00					
70	1	上松保育園	保育園	1,162.00		95,865,000			

第7節 保健・福祉施設

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
65	ふれあい交流広場おぎ（旧荻原小学校）	荻原1207	222.00	1
105	ひのきの里総合福祉センター	小川1702	1,023.00	1
106	高齢者いきいき広場	本町通り3丁目38	201.00	1
107	上松町デイサービスセンター	小川1683-1	499.00	1
108	上松町健康増進センター	上町1658-1	729.00	3
109	上松町陶芸センター	大字小川1573	123.00	2
111	老人憩の家	緑町1丁目719	254.00	1
121	旧母子センター（上松町こども未来会議）	緑町3-1814	265.00	1

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
65	ふれあい交流広場おぎ（旧荻原小学校）	介護養護用・高齢者向けの健康教室、趣味活動施設	特になし
105	ひのきの里総合福祉センター	1階 高齢者居住施設 2階 社共事務所等 障害者相談施設（一部貸出）	排水に一部問題あり。エレベーター更新が必要。外壁にヒビあり。
106	高齢者いきいき広場	介護養護用・高齢者向けの健康教室、趣味活動施設	特になし
107	上松町デイサービスセンター	障害者の短期受け入れ施設として貸与	雨漏りあり。漏水一部あり。外壁・電気設備関係について、大規模改修が必要な時期になっている。
108	上松町健康増進センター	住民健診、保健センター施設として利用。	28年度～ トイレ・屋根・外壁等の大規模改修は実施済み。LED化が事務所のみとなっている。
109	上松町陶芸センター	高齢者の陶芸クラブ用の建物 子どもたちへの教室などに利用。	屋根に錆があり修繕が必要。
111	老人憩の家	軽度介護者の利用。相談窓口にも活用している。地区の集会所としての利用あり。	急傾斜に立っており、耐震化していない。自動扉、お風呂、トイレ改修済み。
121	旧母子センター（上松町こども未来会議）	無償貸与 社会福祉協議会で利用（給食宅配、学童保育）	老朽化が進んでいる。廃止を検討しているが、利用状況による。

3 建物の劣化状況調査結果

財産番号	整理番号	施設名	建物名	所属課	建築年月日	健全度(点)	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
65	1	ふれあい交流広場おぎ(旧荻原小学校)	ふれあい交流広場	住民福祉課_福祉係	2005/3/28	90	A	A	B	A	A
105	1	ひのきの里総合福祉センター	在宅介護支援センター他	住民福祉課_福祉係	1999/3/19	77	A	B	B	B	B
106	1	高齢者いきいき広場	訓練室他	住民福祉課_福祉係	2002/2/28	83	A	B	B	A	A
107	1	上松町デイサービスセンター	デイサービスセンター	住民福祉課_福祉係	1992/3/13	64	B	C	B	B	B
108	1	上松町健康増進センター	事務室・トレーニング室棟	住民福祉課_保健衛生係	1989/3/31	84	A	A	B	B	B
108	2	上松町健康増進センター	会議室	住民福祉課_保健衛生係	1989/3/31	84	A	A	B	B	B
108	3	上松町健康増進センター	渡廊下	住民福祉課_保健衛生係	1989/3/31	84	A	A	B	B	B
111	1	老人憩の家	老人福祉施設	住民福祉課_福祉係	1979/5/31	42	B	C	C	C	C
121	1	旧母子センター(上松町こども未来会議)	福祉施設	総務課_管財係	1964/11/16	28	D	D	C	C	C

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
65	ふれあい交流広場おぎ(旧荻原小学校)	長寿命化	
105	ひのきの里総合福祉センター	長寿命化	
106	高齢者いきいき広場	長寿命化	
107	上松町デイサービスセンター	貸付	2021年度～修繕費用の積み上げを行う
108	上松町健康増進センター	現状維持	2022年 健康増進センター照明LED化工事400万円
109	上松町陶芸センター	長寿命化	
111	老人憩の家	現状維持	耐震化診断の直近で計画をする。
121	旧母子センター(上松町こども未来会議)	貸付	修繕は貸与先で対応。大規模修繕等は行わない。

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
65	-	ふれあい交流広場おぎ(旧荻原小学校)	-	222.00					
65	1	ふれあい交流広場おぎ(旧荻原小学校)	ふれあい交流広場	222.00					
105	-	ひのきの里総合福祉センター	-	1,023.00					
105	1	ひのきの里総合福祉センター	在宅介護支援センター他	1,023.00					
106	-	高齢者いきいき広場	-	201.00					
106	1	高齢者いきいき広場	訓練室他	201.00					
107	-	上松町デイサービスセンター	-	499.00					
107	1	上松町デイサービスセンター	デイサービスセンター	499.00	9,161,640				
108	-	上松町健康増進センター	-	729.00					
108	1	上松町健康増進センター	事務室・トレーニング室棟	470.00		4,000,000			
108	2	上松町健康増進センター	会議室	236.00					
108	3	上松町健康増進センター	渡廊下	23.00					
109	-	上松町陶芸センター	-	123.00					
109	1	上松町陶芸センター	陶芸センター	109.00			1,200,000		
109	2	上松町陶芸センター	倉庫	14.00					
111	-	老人憩の家	-	254.00					
111	1	老人憩の家	老人福祉施設	254.00					
121	-	旧母子センター(上松町こども未来会議)	-	265.00					
121	1	旧母子センター(上松町こども未来会議)	福祉施設	265.00					

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
65	-	ふれあい交流広場おぎ(旧荻原小学校)	-	222.00					
65	1	ふれあい交流広場おぎ(旧荻原小学校)	ふれあい交流広場	222.00					
105	-	ひのきの里総合福祉センター	-	1,023.00					
105	1	ひのきの里総合福祉センター	在宅介護支援センター他	1,023.00					
106	-	高齢者いきいき広場	-	201.00					
106	1	高齢者いきいき広場	訓練室他	201.00			18,000,000		
107	-	上松町デイサービスセンター	-	499.00					
107	1	上松町デイサービスセンター	デイサービスセンター	499.00					
108	-	上松町健康増進センター	-	729.00					
108	1	上松町健康増進センター	事務室・トレーニング室棟	470.00					
108	2	上松町健康増進センター	会議室	236.00					
108	3	上松町健康増進センター	渡廊下	23.00					
109	-	上松町陶芸センター	-	123.00					
109	1	上松町陶芸センター	陶芸センター	109.00					
109	2	上松町陶芸センター	倉庫	14.00					
111	-	老人憩の家	-	254.00					
111	1	老人憩の家	老人福祉施設	254.00		16,824,960			
121	-	旧母子センター(上松町こども未来会議)	-	265.00					
121	1	旧母子センター(上松町こども未来会議)	福祉施設	265.00					

第8節 行政系施設

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
1	上松町役場	上松町駅前通り2-1-3	1,048.00	1
2	消防第1分団第1部詰所	本町通り1丁目24-1	221.00	1
3	消防第1分団第2部詰所	本町通り3丁目23-1	256.00	1
4	消防第2(旧6)分団荻原詰所	大字荻原2030-1	41.00	1
5	消防第2(旧6)分団立町詰所	大字荻原1245-6	77.00	1
7	消防第2分団第1部詰所	大字小川2421-1	157.00	1
8	消防第2分団第2部詰所	荻原2030-1	140.00	1
9	消防団第3分団詰所	緑町2丁目3-2	294.00	1
10	消防団第3分団車庫	栄町1丁目39	21.00	1
13	島防災コミュニティーセンター(消防第4分団詰所)	小川3179-1	319.00	1
14	消防正島器具庫	正島町2丁目68	33.00	1
15	消防見帰ポンプ置場	大字小川2125-2	23.00	1
26	観音倉庫	緑町1丁目1-3	45.00	1
33	見帰書庫(書類倉庫)	小川2007	345.00	1
272	野口倉庫(小)	大字小川1388	19.00	1
273	野口倉庫(大)	大字小川1388	66.00	1

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
1	上松町役場	新庁舎へ移行中	取壊しで更地利用予定だが、具体的な計画が建っていない。
2	消防第1分団第1部詰所	車庫のみの利用	集会施設への転用の要望有。 車両保管場所の確保が出来れば。 詰所の機能は無くしても問題ない。
3	消防第1分団第2部詰所	詰所と利用 集会所としても利用	特に無し
4	消防第2(旧6)分団荻原詰所	倉庫・物置として利用	取壊しをしたいが、物資が有る為統合困難。 10年以内を目途に廃止・統合を図る。
5	消防第2(旧6)分団立町詰所	倉庫・物置として利用	取壊しをしたいが、物資が有る為統合困難。 10年以内を目途に廃止・統合を図る。
7	消防第2分団第1部詰所	詰所と利用	劣化が進行しているため建て替えが必要。
8	消防第2分団第2部詰所	詰所と利用 車庫の利用がメイン	建物の課題は無し。 但し、消防団員減少に伴い、転用の可能性有
9	消防団第3分団詰所	詰所と利用 集会所としても利用	特になし
10	消防団第3分団車庫	車庫のみの利用	
13	島防災コミュニティセンター（消防第4分団詰所）	詰所として利用 集会所としても利用	特になし
14	消防正島器具庫	倉庫・物置として利用	
15	消防見帰ポンプ置場	倉庫・物置として利用	格納物を別に移管することが可能となれば、 取り壊しが可能となる。借地の為、取り壊し して返却を行いたい。
26	観音倉庫	資材置場 除雪機機械置場 土嚢置場	特になし
33	見帰書庫（書類倉庫）	書庫としても利用	特になし
272	野口倉庫（小）	資材置場	特になし
273	野口倉庫（大）	除雪倉庫	除雪倉庫としては規模が小さいため、別の大 規模倉庫が必要なる。

3 建物の劣化状況調査結果

財産 番号	整理 番号	施設名	建物名	所属課	建築年月日	健全度 (点)	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
2	1	消防第1分団第1部詰所	分団詰所	危機管理課_危機管理係	1982/12/20	65	B	C	B	B	B
3	1	消防第1分団第2部詰所	分団詰所	危機管理課_危機管理係	1996/3/25	65	B	C	B	B	B
7	1	消防第2分団第1部詰所	分団詰所	危機管理課_危機管理係	1982/3/17	35	B	C	C	D	D
8	1	消防第2分団第2部詰所	分団詰所	危機管理課_危機管理係	2001/3/15	84	A	B	B	A	A
9	1	消防団第3分団詰所	分団詰所	危機管理課_危機管理係	2005/3/25	73	A	C	B	A	A
13	1	島防災コミュニティセンター (消防第4分団詰所)	防災コミュニティセンター	危機管理課_危機管理係	2010/3/1	100	A	A	A	A	A
33	1	見帰書庫(書類倉庫)	書庫倉庫	総務課_管財係	1985/9/1	67	A	C	B	B	B

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
1	上松町役場	廃止	廃止年度は未定。解体費用の推計は約3,000万円程度を想定。計画年度が決定次第実施計画に記載する。
2	消防第1分団第1部詰所	現状維持	2026年度に建替予定
3	消防第1分団第2部詰所	長寿命化	
4	消防第2(旧6)分団荻原詰所	廃止	
5	消防第2(旧6)分団立町詰所	廃止	
7	消防第2分団第1部詰所	現状維持	消防計画に連動し、2023年度に建て替え計画有。
8	消防第2分団第2部詰所	現状維持	
9	消防団第3分団詰所	長寿命化	
10	消防団第3分団車庫	修繕対応（大規模改修を行わない）	建替えの検討は行わず、修繕で対応する。
13	島防災コミュニティーセンター （消防第4分団詰所）	長寿命化	
14	消防正島器具庫	修繕対応（大規模改修を行わない）	建替えの検討はせず、修繕で対応する。
15	消防見帰ポンプ置場	修繕対応（大規模改修を行わない）	別へ移管（統合）の検討を進める。そのため、建替え・大規模修繕は行わない。
26	観音倉庫	現状維持	
33	見帰書庫（書類倉庫）	修繕対応（大規模改修を行わない）	修繕での対応とし、大規模修繕は現時点では見込まない。
272	野口倉庫（小）	現状維持	
273	野口倉庫（大）	現状維持	

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
1	-	上松町役場	-	1,048.00					
1	1	上松町役場	役場本庁舎	1,048.00					
2	-	消防第1分団第1部詰所	-	221.00					
2	1	消防第1分団第1部詰所	分団詰所	221.00					
3	-	消防第1分団第2部詰所	-	256.00					
3	1	消防第1分団第2部詰所	分団詰所	256.00					5,222,400
4	-	消防第2(旧6)分団荻原詰所	-	41.00					
4	1	消防第2(旧6)分団荻原詰所	倉庫	41.00					
5	-	消防第2(旧6)分団立町詰所	-	77.00					
5	1	消防第2(旧6)分団立町詰所	倉庫	77.00					
7	-	消防第2分団第1部詰所	-	157.00					
7	1	消防第2分団第1部詰所	分団詰所	157.00			31,400,000	31,400,000	
8	-	消防第2分団第2部詰所	-	140.00					
8	1	消防第2分団第2部詰所	分団詰所	140.00					
9	-	消防団第3分団詰所	-	294.00					
9	1	消防団第3分団詰所	分団詰所	294.00					
10	-	消防団第3分団車庫	-	21.00					
10	1	消防団第3分団車庫	消防車庫	21.00					
13	-	島防災コミュニティーセン ター(消防第4分団詰所)	-	319.00					
13	1	島防災コミュニティーセン ター(消防第4分団詰所)	防災コミュニティーセンター	319.00					
14	-	消防正島器具庫	-	33.00					
14	1	消防正島器具庫	消防器具庫	33.00					
15	-	消防見帰ポンプ置場	-	23.00					
15	1	消防見帰ポンプ置場	消防器具庫	23.00					
26	-	観音倉庫	-	45.00					
26	1	観音倉庫	観音倉庫	45.00					
33	-	見帰書庫(書類倉庫)	-	345.00					
33	1	見帰書庫(書類倉庫)	書庫倉庫	345.00					34,500,000
272	-	野口倉庫(小)	-	19.00					
272	1	野口倉庫(小)	倉庫	19.00					
273	-	野口倉庫(大)	-	66.00					
273	1	野口倉庫(大)	倉庫	66.00					

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
1	-	上松町役場	-	1,048.00					
1	1	上松町役場	役場本庁舎	1,048.00					
2	-	消防第1分団第1部詰所	-	221.00					
2	1	消防第1分団第1部詰所	分団詰所	221.00	44,200,000	44,200,000			
3	-	消防第1分団第2部詰所	-	256.00					
3	1	消防第1分団第2部詰所	分団詰所	256.00					
4	-	消防第2(旧6)分団荻原詰所	-	41.00					
4	1	消防第2(旧6)分団荻原詰所	倉庫	41.00					615,000
5	-	消防第2(旧6)分団立町詰所	-	77.00					
5	1	消防第2(旧6)分団立町詰所	倉庫	77.00					1,155,000
7	-	消防第2分団第1部詰所	-	157.00					
7	1	消防第2分団第1部詰所	分団詰所	157.00					
8	-	消防第2分団第2部詰所	-	140.00					
8	1	消防第2分団第2部詰所	分団詰所	140.00					
9	-	消防団第3分団詰所	-	294.00					
9	1	消防団第3分団詰所	分団詰所	294.00	29,400,000				
10	-	消防団第3分団車庫	-	21.00					
10	1	消防団第3分団車庫	消防車庫	21.00					
13	-	島防災コミュニティーセンター(消防第4分団詰所)	-	319.00					
13	1	島防災コミュニティーセンター(消防第4分団詰所)	防災コミュニティーセンター	319.00			31,900,000		
14	-	消防正島器具庫	-	33.00					
14	1	消防正島器具庫	消防器具庫	33.00					
15	-	消防見帰ポンプ置場	-	23.00					
15	1	消防見帰ポンプ置場	消防器具庫	23.00					
26	-	観音倉庫	-	45.00					
26	1	観音倉庫	観音倉庫	45.00					4,500,000
33	-	見帰書庫(書類倉庫)	-	345.00					
33	1	見帰書庫(書類倉庫)	書庫倉庫	345.00					
272	-	野口倉庫(小)	-	19.00					
272	1	野口倉庫(小)	倉庫	19.00					
273	-	野口倉庫(大)	-	66.00					
273	1	野口倉庫(大)	倉庫	66.00					

第9節 公営住宅

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
59	中学校下教員住宅	上松1770-11	108.00	2
61	見帰教員住宅	上松1908-1	128.00	2
62	立町教員住宅	大字荻原1241	128.00	2
63	緑町宮前教員住宅	緑町2丁目11-17	266.00	4
113	旭町教員住宅	旭町13	132.00	2

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
59	中学校下教員住宅	教員住宅として利用	設備関係が古い為、住みづらい
61	見帰教員住宅	教員住宅として利用	設備関係が古い為、住みづらい
62	立町教員住宅	教員住宅として利用	設備関係が古い為、住みづらい
63	緑町宮前教員住宅	教員住宅として利用	設備関係が古い為、住みづらい
113	旭町教員住宅	2棟ともに教員住宅として利用。	設備に関係が古いため、住みづらい。

3 建物の劣化状況調査結果

調査実施建物なし。

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
59	中学校下教員住宅	現状維持	設備関係の更新を検討する。
61	見帰教員住宅	現状維持	設備関係の更新を検討する。
62	立町教員住宅	現状維持	設備関係の更新を検討する。
63	緑町宮前教員住宅	現状維持	設備関係の更新を検討する。
113	旭町教員住宅	現状維持	設備関係の更新を検討する。

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
59	-	中学校下教員住宅	-	108.00					
59	1	中学校下教員住宅	中学校下教員住宅1	54.00			1,164,240		
59	2	中学校下教員住宅	中学校下教員住宅2	54.00			1,164,240		
61	-	見帰教員住宅	-	128.00					
61	1	見帰教員住宅	見帰教員住宅1	64.00				1,379,840	
61	2	見帰教員住宅	見帰教員住宅2	64.00				1,379,840	
62	-	立町教員住宅	-	128.00					
62	1	立町教員住宅	立町教員住宅1	64.00					1,379,840
62	2	立町教員住宅	立町教員住宅2	64.00					1,379,840
63	-	緑町宮前教員住宅	-	266.00					
63	1	緑町宮前教員住宅	緑町教員住宅1	72.00					
63	2	緑町宮前教員住宅	緑町教員住宅2	80.00					
63	3	緑町宮前教員住宅	緑町教員住宅3	40.00					
63	4	緑町宮前教員住宅	宮前教員住宅	74.00					
113	-	旭町教員住宅	-	132.00					
113	1	旭町教員住宅	旭町教員住宅1	70.00					
113	2	旭町教員住宅	旭町教員住宅2	62.00					

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
59	-	中学校下教員住宅	-	108.00					
59	1	中学校下教員住宅	中学校下教員住宅1	54.00					
59	2	中学校下教員住宅	中学校下教員住宅2	54.00					
61	-	見帰教員住宅	-	128.00					
61	1	見帰教員住宅	見帰教員住宅1	64.00					
61	2	見帰教員住宅	見帰教員住宅2	64.00					
62	-	立町教員住宅	-	128.00					
62	1	立町教員住宅	立町教員住宅1	64.00					
62	2	立町教員住宅	立町教員住宅2	64.00					
63	-	緑町宮前教員住宅	-	266.00					
63	1	緑町宮前教員住宅	緑町教員住宅1	72.00	1,552,320				
63	2	緑町宮前教員住宅	緑町教員住宅2	80.00	1,724,800				
63	3	緑町宮前教員住宅	緑町教員住宅3	40.00	862,400				
63	4	緑町宮前教員住宅	宮前教員住宅	74.00	1,595,440				
113	-	旭町教員住宅	-	132.00					
113	1	旭町教員住宅	旭町教員住宅1	70.00		1,509,200			
113	2	旭町教員住宅	旭町教員住宅2	62.00		1,336,720			

第 10 節 公園

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
55	滑川砂防公園	小川2796-3	8.00	1

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
55	滑川砂防公園	ミニ水力発電システムとして開発したが、現在は稼働していない。農業用水の送水管の役割も果たしている。	建物の老朽化は進んでいない状況である。

3 建物の劣化状況調査結果

調査実施建物なし。

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
55	滑川砂防公園	修繕対応（大規模改修を行わない）	今後の大規模改修は行わず修繕等に対応する。

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
55	-	滑川砂防公園	-	8.00					
55	1	滑川砂防公園	ミニ水力発電設備	8.00					

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
55	-	滑川砂防公園	-	8.00					
55	1	滑川砂防公園	ミニ水力発電設備	8.00					

第 11 節 その他

1 対象施設

財産番号	施設名称	所在	総延床面積 (㎡)	建物 棟数
34	見帰事務所	大字小川1992-1	116.00	1
74	天狗山公園便所	大字上松1917	10.00	1
84	焼笹公衆便所	大字小川4923-1	46.00	1
86	寢覚の床公衆便所	大字小川2419-イ-104	105.00	3
96	才児牧場	上松0-1	1,502.00	6
112	本町公衆トイレ	本町通り2丁目103-1	5.40	1
115	旧駒ヶ根担当区事務所・倉庫（介護相談室 縁）	緑町1丁目1-3A	69.00	1
116	旧西分教場	大字小川4709-1	235.00	1
120	寢覚倉庫	上松1901-149	100.00	1
123	焼笹あづまや	大字小川4923-1	57.00	1
143	金懸小屋	大字小川359-1	60.00	1
146	旧三紫工場	小川1973-1	343.00	1
147	旧上松技術専門校（民宿西小川）	大字小川5638	628.00	1
151	寢覚簡易郵便局	大字上松1769-7	75.00	1
190	旧駒ヶ根荘（松の木寮）	緑町3丁目34	348.50	2
433	栄町職員住宅	栄町3丁目688-2	56.81	1

2 現状と課題

財産番号	施設名	現状	課題等
34	見帰事務所	シルバー人材センターと副審関係事務所として貸与利用	修繕に関する要望は特になし。
74	天狗山公園便所	観光用トイレ。小学生等の利用もある。	改修要望が上がっているが、下水道がないため、すぐの対応が困難。
84	焼笹公衆便所	冬期のみ閉鎖して利用。観光客用のトイレ。浄化槽あり。	和式の為、洋式への変更を検討する。
86	寝覚の床公衆便所	冬期のみ閉鎖して利用。観光客用のトイレ	和式の為、洋式への変更を検討する。規模縮小を検討する。
96	才児牧場	牧場として利用。木曾馬保存管理舎・木曾馬飼育舎・肥育舎は利用していない。肉牛事業は引き続き行っていく。夏場のみ。当番制で活動を行う。	建物の老朽化は著しい。
112	本町公衆トイレ	観光客用のトイレ。集会所のトイレの兼用。	特になし
115	旧駒ヶ根担当区事務所・倉庫（介護相談室 縁）	社共の事務所で利用	老朽化が進んでいるが、修繕依頼等は特になし。
116	旧西分教場	小学校跡地で貸与をしている。工房・倉庫として利用。	老朽化が進んでいる。廃止を検討しているが、利用者の状況による。
120	寝覚倉庫	生活環境系の備品倉庫として利用。生き物の一時保管場所。	老朽化が非常に進んでいる。
123	焼笹あづまや	休憩施設として利用	特になし
143	金懸小屋	登山道の避難小屋として利用	特になし。 修繕等が発生した場合は、運搬の問題から高額になる可能性あり。
146	旧三紫工場	福祉関係にて貸与	特になし
147	旧上松技術専門学校（民宿西小川）	民宿として貸与	民宿をやめるタイミングで廃止を行う。修勢は貸与先で対応を行う。
151	寝覚簡易郵便局	郵便局として貸与	修繕等は貸与先で行う。利用終了とともに廃止を行う。
190	旧駒ヶ根荘（松の木寮）	福祉関係にて貸与	老朽化が進んでいる。修繕については要望があれば対応する。
433	栄町職員住宅	保育士が利用している寮	特になし

3 建物の劣化状況調査結果

財産 番号	整理 番号	施設名	建物名	所属課	建築年月日	健全度 (点)	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
96	2	才児牧場	畜舎及び乾草舎	産業観光課_農林係	1966/11/15	12	C	D	D	D	D
96	5	才児牧場	肥育舎	産業観光課_農林係	1977/4/1	12	C	D	D	D	D
116	1	旧西分教場	共同作業所	総務課_管財係	1927/4/1	10	D	D	D	D	D
146	1	旧三紫工場	旧三紫工場	総務課_管財係	1988/2/1	64	B	C	B	B	B
147	1	旧上松技術専門校（民宿西小川）	民宿	総務課_管財係	1969/4/1	40	C	C	C	C	C
190	1	旧駒ヶ根荘（松の木寮）	旧駒ヶ根荘	総務課_管財係	1979/3/23	53	C	C	B	C	C

4 個別施設の維持管理方針と実施計画

財産番号	施設名	方針	実施計画
34	見帰事務所	貸付	修繕での対応とし、大規模修繕は現時点では見込まない。
74	天狗山公園便所	現状維持	
84	焼笹公衆便所	現状維持	直近5年は特になし。
86	寝覚の床公衆便所	現状維持	
96	才見牧場	修繕対応（大規模改修を行わない）	特段の修繕は行わず、利用をしていく。 （修繕費用見込まない）
112	本町公衆トイレ	現状維持	
115	旧駒ヶ根担当区事務所・倉庫（介護相談室 縁）	貸付	大規模修繕等は見込まず、軽微な修繕は貸与先で対応。
116	旧西分教場	廃止	実施時期は未定。利用者と協議を進める。
120	寝覚倉庫	現状維持	建替えを行う。2022年、23年11,000千円
123	焼笹あづまや	現状維持	
143	金懸小屋	現状維持	
146	旧三紫工場	貸付	
147	旧上松技術専門校（民宿西小川）	貸付	廃止時期が未定のため、時期が決定したら廃止費用を計画する。
151	寝覚簡易郵便局	貸付	廃止時期が未定のため、時期が決定したら廃止費用を計画する。
190	旧駒ヶ根荘（松の木寮）	貸付	
433	栄町職員住宅	現状維持	

5 個別施設の実施計画及び概算費用

(令和3年度～令和7年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2021	2022	2023	2024	2025
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
34	-	見帰事務所	-	116.00					
34	1	見帰事務所	事務所	116.00					10,440,000
74	-	天狗山公園便所	-	10.00					
74	1	天狗山公園便所	公衆便所	10.00					
84	-	焼笹公衆便所	-	46.00					
84	1	焼笹公衆便所	公衆便所	46.00					
86	-	寝覚の床公衆便所	-	105.00					
86	1	寝覚の床公衆便所	公衆便所(上)	68.00					
86	2	寝覚の床公衆便所	公衆便所(下)	30.00					
86	3	寝覚の床公衆便所	あずまや1	7.00					
96	-	才児牧場	-	1,502.00					
96	1	才児牧場	肉牛センター事務所	28.00					
96	2	才児牧場	畜舎及び乾草舎	400.00					
96	3	才児牧場	木曾馬保存管理舎	90.00					
96	4	才児牧場	木曾馬飼育舎	54.00					
96	5	才児牧場	肥育舎	870.00					
96	6	才児牧場	農具舎	60.00					
112	-	本町公衆トイレ	-	5.40					
112	1	本町公衆トイレ	公衆トイレ	5.40					
115	-	旧駒ヶ根担当区事務所・倉庫 (介護相談室 縁)	-	69.00					
115	1	旧駒ヶ根担当区事務所・倉庫 (介護相談室 縁)	旧駒ヶ根担当区事務所・倉庫	69.00					
116	-	旧西分教場	-	235.00					
116	1	旧西分教場	共同作業所	235.00					
120	-	寝覚倉庫	-	100.00					
120	1	寝覚倉庫	車庫	100.00	1,000,000	10,000,000			
123	-	焼笹あづまや	-	57.00					
123	1	焼笹あづまや	あづまや	57.00					
143	-	金懸小屋	-	60.00					
143	1	金懸小屋	避難小屋	60.00					
146	-	旧三紫工場	-	343.00					
146	1	旧三紫工場	旧三紫工場	343.00					
147	-	旧上松技術専門学校(民宿西小川)	-	628.00					
147	1	旧上松技術専門学校(民宿西小川)	民宿	628.00					
151	-	寝覚簡易郵便局	-	75.00					
151	1	寝覚簡易郵便局	事務所	75.00					
190	-	旧駒ヶ根荘(松の木寮)	-	348.50					
190	1	旧駒ヶ根荘(松の木寮)	旧駒ヶ根荘	341.00					
190	2	旧駒ヶ根荘(松の木寮)	物置	7.50					
433	-	栄町職員住宅	-	56.81					
433	1	栄町職員住宅	旧多治見砂防国道事務所宿舎	56.81					

(令和8年度～令和12年度)

財産 番号	整理 番号	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	第1期実施計画及び概算費用				
					2026	2027	2028	2029	2030
					金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
34	-	見帰事務所	-	116.00					
34	1	見帰事務所	事務所	116.00					
74	-	天狗山公園便所	-	10.00					
74	1	天狗山公園便所	公衆便所	10.00					
84	-	焼笹公衆便所	-	46.00					
84	1	焼笹公衆便所	公衆便所	46.00					
86	-	寝覚の床公衆便所	-	105.00					
86	1	寝覚の床公衆便所	公衆便所(上)	68.00					
86	2	寝覚の床公衆便所	公衆便所(下)	30.00					
86	3	寝覚の床公衆便所	あずまや1	7.00					
96	-	才児牧場	-	1,502.00					
96	1	才児牧場	肉牛センター事務所	28.00					
96	2	才児牧場	畜舎及び乾草舎	400.00					
96	3	才児牧場	木曾馬保存管理舎	90.00					
96	4	才児牧場	木曾馬飼育舎	54.00					
96	5	才児牧場	肥育舎	870.00					
96	6	才児牧場	農具舎	60.00					
112	-	本町公衆トイレ	-	5.40					
112	1	本町公衆トイレ	公衆トイレ	5.40					
115	-	旧駒ヶ根担当区事務所・倉庫 (介護相談室 縁)	-	69.00					
115	1	旧駒ヶ根担当区事務所・倉庫 (介護相談室 縁)	旧駒ヶ根担当区事務所・倉庫	69.00					
116	-	旧西分教場	-	235.00					
116	1	旧西分教場	共同作業所	235.00					
120	-	寝覚倉庫	-	100.00					
120	1	寝覚倉庫	車庫	100.00					
123	-	焼笹あづまや	-	57.00					
123	1	焼笹あづまや	あづまや	57.00					
143	-	金懸小屋	-	60.00					
143	1	金懸小屋	避難小屋	60.00					
146	-	旧三紫工場	-	343.00					
146	1	旧三紫工場	旧三紫工場	343.00		30,870,000			
147	-	旧上松技術専門校(民宿西小川)	-	628.00					
147	1	旧上松技術専門校(民宿西小川)	民宿	628.00					
151	-	寝覚簡易郵便局	-	75.00					
151	1	寝覚簡易郵便局	事務所	75.00					
190	-	旧駒ヶ根荘(松の木寮)	-	348.50					
190	1	旧駒ヶ根荘(松の木寮)	旧駒ヶ根荘	341.00					
190	2	旧駒ヶ根荘(松の木寮)	物置	7.50					
433	-	栄町職員住宅	-	56.81					
433	1	栄町職員住宅	旧多治見砂防国道事務所宿舎	56.81					5,112,900

第7章 計画のフォローアップ

本計画は、公共建築物（建物）の改修や建替えの優先順位を設定するものであり、「上松町公共施設等総合管理計画」および町全体の財政計画のなかで、年次および個別の事業費を精査していくとともに、事業の進捗状況、定期的・法定的な点検から得られる老朽化に関する状況・評価などの結果に加え、社会の状況(少子化など)を踏まえた上で、10年ごとに見直しを行います。

計画の推進にあたっては、PDCA（Plan:計画の推進、Do:実行、Check:効果の評価・検証、Action:見直し）サイクルの考え方にに基づき、具体的な事業の実施と状況のフィードバック、翌年度以降の展開に向けて適宜、見直しを行うことで、長期的な社会情勢の変化に対応し、計画の確実な推進を図ります。

特に第1期計画策定にあたり以下の課題があったため、第2期までに情報収集に努め次回の策定までにブラッシュアップができるよう努めます。

- ① 保全優先度の判定の精度向上のために各施設のコスト等から施設のコストパフォーマンスを導入
- ② 経費の平準化に向けた各個別施設計画の実施時期の調整
- ③ 統合・廃止・更新に向けた住民への理解・周知

上松町
公共施設個別施設計画（第1期）
令和3年3月

上松町 総務課 管財係